

# あいち自動車環境戦略2020に関する取組の実施状況一覧

(令和3年3月現在)

## 目次

1	自動車単体対策の強化等	・・・	1
2	車種規制の実施及び流入車の排出基準の適合車への転換の促進	・・・	4
3	低公害車の普及促進	・・・	5
4	エコドライブの普及促進	・・・	14
5	交通需要の調整・低減	・・・	18
6	交通流対策の推進	・・・	34
7	自動車交通集中地域等の対策の推進	・・・	36
8	普及啓発活動の推進	・・・	36
9	道路環境改善対策	・・・	39

※あいち自動車環境戦略2020に掲げる施策ごとに分類しています。

1 自動車単体対策の強化等

(1) ディーゼル車対策の促進

施策名	実施主体	2020年度実施した取組	2021年度実施した取組（予定も含む）		2022年度以降に実施予定の取組	
1 最新規制適合車の普及	中部運輸局	順次強化される排出ガス規制及び導入される排出ガス新試験モードを当該自動車の製作年月日、車種及び車両総重量等により区分して適用。	継続			
	名古屋市	○最新規制適合自動車代替促進事業 中小企業事業者、幼稚園・保育園、福祉施設等が車齢8年超えの貨物自動車等をより環境性能のよい、最新規制適合車へ代替する場合に補助を実施。（2020年度：8台）	継続		継続	
	(一社)愛知県トラック協会	○ポスト新長期規制適合車導入に係る近代化基金融資 ポスト新長期規制適合車を購入する際の利子の一部補給（103件）	継続		継続	継続予定
	石油連盟	サルファーフリー自動車燃料（硫黄分10ppm以下のガソリン・軽油）を供給し、燃費・排ガス性能に優れた自動車の普及・運用に貢献しています。	継続		継続	
	(一社)日本自動車工業会	ディーゼル重量車については、2016年排出ガス規制に対応するために、電子制御による高圧多段燃料噴射、EGR（排気再循環システム）の精緻な制御による燃焼コントロール、DPF（ディーゼルパーティキュレートフィルター）やNox還元触媒などの技術をシステム化した排出ガス低減技術搭載車を市場に継続投入中。	継続		継続	
	長久手市		新規	老朽化したN-バスを最新規制適合車に更新する。	継続	
	南知多町	町が委託している乗り合いバス（海っ子バス）において、導入されている。	継続		継続	
2 低公害建設機械の使用促進	中部地方整備局	【名国・愛国・名四】排出ガス対策型建設機械の使用 発注する工事においては、原則として排出ガス対策型建設機械を使用することとしている。（土木工事特記仕様書に記載）	継続		継続	
	一宮市	○排出ガス対策型建設機械の使用 市が発注する工事においては、原則、排出ガス対策型建設機械を使用することとしている。（工事標準仕様書に記載）発注後の機械確認については、報告書に排出ガス対策型建設機械のステッカーの写真を添付してもらっている	終了			
	春日井市	○排出ガス対策型建設機械の使用 市が発注する工事においては、原則、排出ガス対策型建設機械を使用することとした。（工事標準仕様書に記載）	継続		継続	
	碧南市	市が発注する工事においては、原則、排出ガス対策型建設機械を使用することとしている。（工事標準仕様書に記載） 使用確認については、施行計画及び建設機械の写真にて行う。	継続		継続	
	西尾市	・排出ガス対策型建設機械の使用 市が発注する工事においては、原則、排出ガス対策型建設機械を使用することとしている。（愛知県建設部工事標準仕様書に準拠） 建設機械の確認については、施行計画及び完了写真で行う。	継続		継続	
	新城市	○排出ガス対策型建設機器の使用 市が発注する工事においては、排出ガス対策型建設機器を使用することとしている。（設計書に記載）	継続		継続	
	中日本高速道路(株)名古屋支社	低公害建設機械の使用促進 ・名古屋第二環状自動車道建設事業 ・刈谷スマートIC ・豊田上郷スマートIC ・一宮稲沢北IC（建設時の名称：西尾張IC） ※排出ガス対策型建設機械の使用 共通仕様書で排出ガス対策型建設機械の使用を指定	継続	低公害建設機械の使用促進 ・名古屋第二環状自動車道建設事業 ・刈谷スマートIC ※排出ガス対策型建設機械の使用 共通仕様書で排出ガス対策型建設機械の使用を指定	新規	低公害建設機械の使用促進 ・岡崎阿知和スマートIC ・東郷スマートIC ※排出ガス対策型建設機械の使用 共通仕様書で排出ガス対策型建設機械の使用を指定
	名古屋高速道路公社	○排出ガス対策型建設機械指定制度の推進 排出ガス対策型建設機械指定制度（第3次基準） （H18年3月）に基づき指定された排出ガス対策型建設機械の使用原則化	継続		継続	
	愛知県道路公社	○排出ガス対策型建設機械の使用 ・発注する工事においては、原則、指定された排出ガス対策型建設機械を使用することとしている。（愛知県建設局土木工事標準仕様書に準拠するよう、特記仕様書に記載） ・確認方法は、工事完了時に使用した排出ガス対策型建設機械の写真を提出することとし、確認している。	継続	同左	継続	同左

施策名	実施主体	2020年度実施した取組	2021年度実施した取組（予定も含む）		2022年度以降に実施予定の取組	
2 低公害建設機械の使用促進	瀬戸市	排出ガス対策型建設機器の使用（市が発注する工事においては、原則排出ガス対策型建設機械を使用することとしている。（工場標準仕様書に記載））	継続		継続	
	刈谷市	○排気ガス対策型建設機械の使用 市が発注する工事においては、排出ガス対策型建設機械を使用することとしている。（設計書に記載） 建設機械の確認については、施行計画及び建設機械の写真にて行う。	継続		継続	
	蒲郡市	○排出ガス対策型建設機械の使用 市が発注する工事においては、原則、排出ガス対策型建設機械を使用することとした。（工事標準仕様書に記載）	継続		継続	
	江南市	○排出ガス対策型建設機械の使用 市が発注する工事においては、原則、排出ガス対策型建設機械を使用することとしている。「積算基準及び歩掛表 愛知県建設局」を準拠	継続		継続	
	小牧市	・排出ガス対策型建設機械の使用 市が発注する工事においては、原則、排出ガス対策型建設機械を使用することとしている。（工事標準仕様書に記載）	継続		継続	
	稲沢市	低公害建設機械の使用促進 排出ガス対策型建設機械の使用 市が発注する工事においては、原則、排出ガス対策型建設機械を使用することとしている。（工事標準仕様書に記載）	継続	低公害建設機械の使用促進 排出ガス対策型建設機械の使用 市が発注する工事においては、原則、排出ガス対策型建設機械を使用することとしている。（工事標準仕様書に記載）	継続	低公害建設機械の使用促進 排出ガス対策型建設機械の使用 市が発注する工事においては、原則、排出ガス対策型建設機械を使用することとしている。（工事標準仕様書に記載）
	知多市	○排出ガス対策型建設機械の使用 市が発注する工事においては、原則、排出ガス対策型建設機械を使用。（愛知県建設部土木工事標準仕様書に準拠） 使用機械の確認実績 施行計画書に記載の使用機械の確認及び完了写真で確認。	継続		継続	
	高浜市	低公害建設機械の使用促進	継続		継続	
	北名古屋	・排出ガス対策型建設機械の使用 市が発注する工事に対しては、原則排出ガス対策型建設機械の使用を求めている。 （工事標準仕様書に記載） ・低騒音型・低振動型建設機械 「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針」に基づき、市が発注する土木・建設工事の設計図書等で使用を義務づけ、使用を求めた（土木工事標準仕様書・建設工事特記仕様書に記載）	継続		継続	
	みよし市	○排出ガス対策型建設機械の使用 市が発注する工事においては、原則、排出ガス対策型建設機械を使用。（愛知県建設部土木工事標準仕様書に準拠）	継続		継続	
	扶桑町	排出ガス対策型建設機械の使用 町が発注する工事において、排出ガス対策型の建設機械を使用。（工事標準仕様書に記載。）	継続	同左	継続	同左
	飛島村	排出ガス対策型建設機械の使用 村が発注する工事については、原則排出ガス対策型建設機械を使用することとする。 （工事標準仕様書に記載）	継続		継続	
	武豊町	○排出ガス対策型建設機械の使用 町が発注する工事においては、原則、排出ガス対策型建設機械を使用することとしている。 （愛知県建設部工事標準仕様書に準ずる）	継続		継続	
	愛知県	○排出ガス対策型建設機械 「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律」等に基づき、愛知県建設部が発注する土木工事に対して、排出ガス対策型建設機械の使用を義務づけている。（土木工事標準仕様書に記載） また、愛知県建設部が発注する建築工事に対して、基本的には排出ガス対策型建設機械の使用を求めている。（建築工事特記仕様書） ○低騒音型・低振動型建設機械 「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針」に基づき、愛知県建設部が発注する土木・建築工事の設計図書で使用を義務づけた場合には、低騒音型・低振動型建設機械を使用することとしている。（土木工事標準仕様書・建築工事特記仕様書に記載）	継続		継続	

(2) 啓発活動の実施

施策名	実施主体	2020年度実施した取組	2021年度実施した取組 (予定も含む)		2022年度以降に実施予定の取組		
1 ディーゼル黒煙街頭検査・クリーンキャンペーンの実施	中部運輸局	名古屋南部周辺において、ディーゼル車を対象とした街頭検査を実施し、規制値を超える黒煙を排出する等の整備不良車に対し、必要な整備を命じるとともに、点検整備の励行などの啓発活動。(愛知県内黒煙検査：5回、10台検査)	継続				
		運輸支局に不正改造車・黒煙相談窓口(不正改造車・黒煙110番)を設置し、通報を受けたユーザーにハガキを送付し、自主点検等を指導。(愛知県内不正改造車通報件数1505件、ハガキ送付枚数178枚、うち6月の強化月間中の不正改造車通報件数79件、ハガキ送付枚数87枚)	継続				
	愛知県	【名国】特殊車両指導取締り 国道23号(下り)大府市北崎町において指導取締りを2回実施。国道23号(上り)弥富市三好町で指導取締りを3回実施。	継続	【名国】特殊車両指導取締り 国道23号(下り)大府市北崎町において指導取締りを2回実施。 国道23号(上り)弥富市三好町で指導取締りを2回実施。	継続	【名国】特殊車両指導取締り 国道23号(下り)大府市北崎町において指導取締りを4回実施予定。及び国道23号(上り)弥富市三好町で指導取締りを4回実施予定。	
2 車両点検整備の励行	中部地方整備局	【名国・愛国・名四】車両点検整備の励行事務所の所管する車両においては点検整備を励行している。	継続			継続	
	中部運輸局	9月及び10月に定期点検整備推進運動を実施し、ポスター及びチラシによる広報活動と街頭検査時における定期点検の励行を指導。	継続				
	名古屋市		新規	○タイヤチェックキャンペーン ・ショッピングモール駐車場で実施(24台)			
	一宮市	車両点検整備の励行	継続			継続	
	春日井市	車両点検整備の励行 所有する車両について、点検整備を励行している。	継続			継続	
		地球温暖化対策の毎月の重点取組み項目として、公用車の車両点検整備を励行(11月実施)	継続			継続	
	(公社)愛知県バス協会	自動車点検整備推進運動 会員事業者への周知と会員事業者へエアクリーナー・エレメント、燃料フィルター等の点検整備、アイドリングストップ装置付き車のスターターモーター等の点検整備実施の呼びかけ	継続			継続	
	(一社)日本ガス協会(東邦ガス株)	車両点検整備を3カ月毎に実施	継続	車両点検整備を3カ月毎に実施		継続	車両点検整備を3カ月毎に実施
	(一社)日本自動車工業会	車両の定期点検に関する啓発内容をウェブサイトに掲載。	継続			継続	
	中部電力(株)	車両運行前点検を確実に実施するとともに、既存車の適切な点検・整備により燃費を維持し、車両の延命化を図る。	継続	車両運行前点検を確実に実施するとともに、既存車の適切な点検・整備により燃費を維持し、車両の延命化を図る。		継続	車両運行前点検を確実に実施するとともに、既存車の適切な点検・整備により燃費を維持し、車両の延命化を図る。
	稲沢市	車両点検整備の励行 公用車運転前の車両点検を再度呼びかけ	継続			継続	
	東海市	車両点検整備の励行	継続			継続	
	みよし市	○車両点検整備の励行 所有する車両について、点検整備を励行している。	継続			継続	
	愛知県	○車両点検整備の励行 財産管理課で管理している貸出車両(バン)については、運行前後に車両点検を行い、財産管理課自動車運転手が運行する公用車については、各担当者が定期的に点検を行っている。	継続			継続	
企業庁	公用車について、運行前に点検を行い、かつ毎月1回定期的に点検を行っている。	継続			継続		
3 不正混和軽油等の使用防止	中部運輸局	ディーゼル車に対し、街頭検査で軽油抜き取り検査を実施し、不正軽油の使用防止を図る。(愛知県内不正軽油検査：5回、10台検査)	継続				
	愛知県	愛知県不正軽油撲滅対策会議を設置し、軽油抜き取り調査を実施し、不正軽油撲滅のための広報活動等を行う。	継続			継続	

2 車種規制の実施及び流入車の排出基準の適合車への転換の促進

(1) 規制の実施、強化等

施策名	実施主体	2020年度実施した取組	2021年度実施した取組（予定も含む）		2022年度以降に実施予定の取組	
	愛知県	環境省の委託により、総量削減計画進行管理調査を実施	継続		継続	
2 排出ガス規制の強化等	愛知県	「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律」に基づき、特定特殊自動車の使用について立入検査等を実施。	継続		継続	
3 車種規制非適合車の使用抑制の推進	中部地方整備局	【名国】特殊車両指導取締り 国道23号（下り）大府市北崎町において指導取締りを2回実施。国道23号（上り）弥富市三好町で指導取締りを3回実施。	継続	【名国】特殊車両指導取締り 国道23号（下り）大府市北崎町において指導取締りを2回実施（予定含む）。国道23号（上り）弥富市三好町で指導取締りを4回実施（予定含む）。	継続	【名国】特殊車両指導取締り 国道23号（下り）大府市北崎町において指導取締りを4回実施予定。及び国道23号（上り）弥富市三好町で指導取締りを4回実施予定。
	名古屋市	○車種規制非適合車の使用抑制等に関する取り組み ①非適合貨物自動車等の使用者の把握 非適合貨物自動車等の実態を把握するために、国道23号を通行する車のナンバープレートの調査を実施。 ②普及啓発 市内の荷主等及び非適合貨物自動車等の使用者に対し、使用抑制のパンフレットを送付	継続		継続	
	岡崎市	○車種規制非適合車の使用抑制の推進 貨物自動車等の車種規制非適合車の使用抑制等に関する要綱に基づき、非適合車の使用抑制を推進する。	継続	○車種規制非適合車の使用抑制の推進 貨物自動車等の車種規制非適合車の使用抑制等に関する要綱に基づき、非適合車の使用抑制を推進する。	継続	○車種規制非適合車の使用抑制の推進 貨物自動車等の車種規制非適合車の使用抑制等に関する要綱に基づき、非適合車の使用抑制を推進する。
	愛知県	○貨物自動車等の車種規制非適合車の使用抑制 「貨物自動車等の使用抑制等に関する要綱」に基づき、農林基盤局が発注する工事において、「自動車NOx・PM法」の対象地域外からの流入車も含め、車種規制非適合車の使用抑制に努めることとしている（工事標準仕様書に記載） 荷主等に対し、車種規制非適合車の使用抑制が図られるよう、県事務所による立入指導を実施。 要綱に基づく届出を実施させるため、届出対象事業者に対して通知を行うとともに、未提出事業者に対しては、指導・立入等を行い、届出の徹底を図る。	継続		継続	

3 低公害車の普及促進

(1) 次世代自動車等先進エコカーの導入促進

施策名	実施主体	2020年度実施した取組	2021年度実施した取組（予定も含む）		2022年度以降に実施予定の取組	
1 次世代自動車等先進エコカー導入に対する 助成・優遇措置	中部運輸局	超小型モビリティの普及や地方自治体、観光・流通関係事業者、デイベロッパー等の主導による先行導入や試行導入に対し支援。	継続			
		物流の低炭素化促進事業の公募、周知	継続			
	中部地方環境事務所	○低炭素型ディーゼルトラック等普及加速化事業（国土交通省連携） 対象者：トラック運送業者（中小事業者に限る） 対象車両：低炭素型ディーゼルトラック（大・中型は2015年度燃費基準+5%以上、小型は+10%以上達成車）	継続	○低炭素型ディーゼルトラック普及加速化事業（国土交通省連携） 対象者：トラック運送業者（中小事業者に限る） 対象車両：低炭素型ディーゼルトラック（大・中型は2015年度燃費基準+5%以上、小型は+10%以上達成車）	継続	（継続予定）
		○電動化対応トラック・バス導入加速事業（国土交通省・経済産業省連携事業） 対象者：トラック・バスを事業のように供する者 対象車両：電動化対応トラック（EV, HV車） 電動化対応バス（EV, PHV, HV車）	継続	○環境配慮型先進トラック・バス導入加速事業（国土交通省・経済産業省連携事業） 対象者：地方公共団体、民間団体等 対象車両：トラック（EV, HV, NGV車） バス（EV, HV車）	継続	（継続予定）
		○水素社会実現に向けた産業車両等における燃料電池化促進事業（一部国土交通省連携） 対象者：民間団体等 対象車両：燃料電池バス	継続	○脱炭素社会構築に向けた再エネ等由来水素活用推進事業（一部経済産業省、国土交通省連携事業）のうち、水素活用による運輸部門等の脱炭素化事業 対象者：地方公共団体、民間事業者・団体等 対象車両：燃料電池バス、燃料電池フォークリフト	継続	（継続予定）
			新規	国で策定した「地域脱炭素ロードマップ」において、重点対策の一つである「ゼロカーボンドライブ」（再エネ電気由来の電動車、プラグインハイブリッド車、燃料電池車の積極的導入）を推進し、自動車による移動を脱炭素化する。	継続	（当面継続）
	豊橋市	○電気自動車等購入補助金 電気自動車、プラグインハイブリッド、燃料電池自動車の購入への補助（EV12台、PHV31台、FCV3台）	継続		継続	
		○電動バイク購入補助金 電動バイク購入への補助（3台）	継続		継続	
	岡崎市	○事業用の低公害車（3、5ナンバーを除く）を購入する中小企業者に融資をあっせんし、融資利子相当額を補助している。（予算額154千円）	継続	○事業用の低公害車（3、5ナンバーを除く）を購入する中小企業者に融資をあっせんし、融資利子相当額を補助した。（予算額4千円）	継続	○事業用の低公害車（3、5ナンバーを除く）を購入する中小企業者に融資をあっせんし、融資利子相当額を補助する。（予算額1千円）
		○次世代自動車（FCV、EV、PHV）補助金の実施（予算額11,000千円）	継続	○次世代自動車（FCV、EV、PHV）補助金の実施（予算額11,000千円）	継続	○次世代自動車（FCV、EV、PHV）補助金の実施
	碧南市	事業用次世代自動車購入への補助金交付	継続		継続	変更点：補助金交付を個人向けに拡充予定
	豊田市	次世代自動車普及促進費補助金 次世代自動車の購入に対して補助金を交付 個人向け：158件 事業者向け：47件	継続	次世代自動車普及促進費補助金（11月末時点） 次世代自動車の購入に対して補助金を交付 個人向け：114件 事業者向け：23件	継続	引続き補助を予定
西尾市	・低公害車普及促進事業補助金 低公害車を導入する個人及び法人に対して補助金を交付。（42件）	継続	・低公害車普及促進事業補助金 低公害車を導入する個人及び法人に対して補助金を交付。（34件） ※予算に達したため2021年度の受付は終了	継続		
（一社）愛知県トラック協会	○低公害車導入助成 CNGトラック、ハイブリッドトラックを導入する事業者に対して補助金を交付（CNG13台、ハイブリッド18台）	継続		継続	継続予定	
（公社）愛知県バス協会	ハイブリッドバス、CNGバス、燃料電池バス、電気バス等低公害、低燃費バスに対する助成措置	継続		継続		

施策名	実施主体	2020年度実施した取組	2021年度実施した取組（予定も含む）	2022年度以降に実施予定の取組	
1 次世代自動車等先進エコー導入に対する 助成・優遇措置	刈谷市	<p>○次世代自動車購入費補助制度 次世代自動車の新規購入され、一定の条件を満たす市民、市内事業者へ補助金の交付を実施。 ●電気自動車、プラグインハイブリッド自動車 個人：1台につき車両本体価格（税抜）の10%（上限30万円） 事業者：1台につき15万円 （プラグインハイブリッド自動車は排気量1800cc以下） ●燃料電池自動車 個人：車両本体価格と一般社団法人次世代自動車振興センターが定める該当車両の基準額との差額に2/3を乗じて得た額を、車両本体価格から差し引いた額の10%（上限50万円） 事業者：車両本体価格と一般社団法人次世代自動車振興センターが定める該当車両の基準額との差額に1/12を乗じて得た額を、車両本体価格から差し引いた額の10%（上限40万円） ●超小型電気自動車 個人・事業者：1台につき車両本体価格（税抜）の10%（上限7万円）</p> <p>【補助実績】 燃料電池自動車 : 7台 電気自動車 : 15台 プラグインハイブリッド自動車 : 44台 超小型電気自動車 : 1台 合計 : 67台</p>	継続	継続	継続
	安城市	<p>○次世代自動車購入費補助制度 FCV・EV・PHVの購入者に対して補助金を交付する（50件）</p>	継続	<p>○次世代自動車購入費補助制度 FCV・EV・PHVの購入者に対して補助金を交付する（80件）</p>	継続
	蒲都市	次世代自動車（燃料電池自動車）を新車購入する市民、法人に補助を実施	継続		継続
	犬山市				新規 次世代自動車導入促進補助金の新設予定
	知立市	<p>次世代自動車普及促進費補助金 個人が購入する電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車の購入補助（実績0件）</p>	継続		継続
	田原市		新規	<p>○燃料電池自動車購入費補助 燃料電池自動車を購入する個人・事業者に対して補助金を交付</p>	継続
	みよし市	<p>○エコエネルギー促進事業補助金（低公害車） 低公害車を導入する個人に対して補助金を交付。 FCV: 上限35万、EV、PHV: 上限15万 【補助実績 21件】 事業者向けも継続して実施。補助額は個人向けと同額。</p>	継続		継続
	東浦町	<p>○東浦町次世代自動車購入費補助金 次世代自動車を購入する東浦町在住の個人に対して補助金を交付</p>	継続		継続
	武豊町				新規 次世代自動車購入費補助金 次世代自動車（FCV・EV・PHV）を購入する個人に対して補助金を交付。
	幸田町	<p>○次世代自動車購入費補助金 次世代自動車（燃料電池自動車、電気自動車、プラグインハイブリッド車）の購入に対する補助金交付。 実績 9 件</p>	継続	<p>2020年度から変更なし。 令和3年11月現在 実績 7 件</p>	継続 海外転勤で住民票を移していた方に対して、交付できるよう要綱改正予定。 予算額の増額を検討。
	東栄町	次世代自動車購入費補助金	継続	次世代自動車購入費補助金	継続 次世代自動車購入費補助金
	愛知県	<p>2014年4月以降に新車新規登録を受けたEV・PHV・FCVに対する自動車税の課税免除（2019年10月以降は自動車税種別割） （2020年度実績3,352台）</p>	継続		継続 2022年度末までに新車新規登録を受けたEV・PHV・FCVが対象
		<p>○燃料電池産業車両導入促進事業費補助金 燃料電池フォークリフトの導入を支援するため、通常のフォークリフトとの差額の一部を補助（2件）。</p>	継続		継続 未定
<p>先進環境対応自動車を導入する事業者に対して補助金を交付。 対象車種：CNG（トラック・バス）、優良HV（トラック・バス）、ハイブリッドUDタクシー、EV（トラック・バス・乗用車）、PHV（トラック・バス・乗用車）、FCV（バス・乗用車） 【実績】 702台</p>		継続	<p>先進環境対応自動車を導入する事業者に対して補助金を交付。 対象車種：天然ガス（トラック・バス）、優良HV（トラック・バス）、ハイブリッドUDタクシー、EV（トラック・バス・乗用車）、PHV（トラック・バス・乗用車）、FCV（バス・乗用車） 【12月末時点申請台数】 609台</p>	継続	継続

施策名	実施主体	2020年度実施した取組		2021年度実施した取組（予定も含む）		2022年度以降に実施予定の取組		
3 公用車への次世代自動車等先進エコカーの率先導入	東海農政局	公用車の低公害・低燃費車の率先導入を継続して実施（2020年度の更新なし）	継続	(2021年度の更新予定はなし)	継続			
	中部運輸局	公用車を更新する際には、原則低公害車を導入（2021年3月末時点：ハイブリッド車18台、低排出・低燃費車10台、燃料電池自動車1台）	継続					
	中部地方環境事務所	公用車全車のハイブリッド車化	新規	燃料電池車両を導入予定	継続			
	名古屋市	○公用車への次世代自動車の導入 ※公用車への低公害・低燃費車の導入方針	継続	・2016年規制適合バス25両導入（当市基準※の低公害バス累計858両（84%） ※公用車への低公害・低燃費車の導入方針	継続	・2016年規制適合バスの導入		
		○市バスへの低公害車の導入 ・2016年規制適合バス30両導入（当市基準※の低公害バス累計833両（82%） ※公用車への低公害・低燃費車の導入方針	継続	・2016年規制適合バス25両導入（当市基準※の低公害バス累計858両（84%） ※公用車への低公害・低燃費車の導入方針	継続	・2016年規制適合バスの導入		
	豊橋市	公用車にEV3台、PHV1台を導入（計23台）	継続	公用車に次世代自動車を計画的に導入	継続	公用車に次世代自動車を計画的に導入予定		
	一宮市		新規	公用車に電気自動車を2台導入	継続	未定		
	春日井市	公用車として、電気自動車3台、ハイブリッド車7台、クリーンディーゼル車46台を所有	継続	EVへの更新を検討	継続			
	津島市	○公用車への次世代自動車等先進エコカーの率先導入 巡回バスの運行を、クリーンディーゼルの小型バス2台で行った。	継続		継続			
	碧南市	公用車への次世代自動車の導入推進	継続		継続			
	豊田市	公用車に先進エコカーを率先導入 燃料電池自動車 1台 プラグインハイブリッド自動車 0台 ハイブリッド自動車 14台 天然ガス自動車 0台 電気自動車 7台 ☆☆☆☆&平成27年度燃費基準達成車 0台 ☆☆☆☆ 0台	継続	公用車に先進エコカーを率先導入 燃料電池自動車 0台 プラグインハイブリッド自動車 0台 ハイブリッド自動車 3台 天然ガス自動車 0台 電気自動車 3台 ☆☆☆☆&平成27年度燃費基準達成車 0台 ☆☆☆☆ 0台	継続	公用車に次世代自動車等先進エコカーを率先して導入する		
		西尾市	公用車に次世代自動車等エコカーを導入。	継続		継続		
	新城市	○公用車への次世代自動車等先進エコカーの率先導入 公用車の買い替えを行う際は導入していく	継続		継続			
	日進市	公用車へのエコカー導入（PHV1台）	継続		継続			
	豊山町	公用車買替基準等に基づき、低公害・低燃費車への買替えを行う。（2020年度は基準該当なし）	継続	公用車買替基準等に基づき、低公害・低燃費車への買替えを行う。（2021年度は1台買替え予定）	継続	公用車買替基準等に基づき、低公害・低燃費車への買替えを行う。		
	大口町		継続	電気自動車（EV）1台、燃料電池自動車（FCV）1台、ハイブリッド自動車（HV）4台 導入済み	継続	公用車への次世代自動車等先進エコカーの率先導入		
	名古屋高速道路公社	○低公害・低燃費車の率先導入による普及啓発 ・ハイブリッド車：4台 ・低排出ガス車（新☆☆☆☆、新☆☆☆）：24台 ・ポスト新長期：46台 ・新長期：7台	継続		継続			
	瀬戸市	公用車にHV車1台導入	継続		継続			
	刈谷市	公用車に17台エコカーを導入 【導入実績】 （内訳）低燃費車…13台 クリーンディーゼル車…2台 ハイブリッド車…2台	継続		継続			
	蒲郡市	公用車に次世代自動車や低公害車（低排出ガスや低燃費の基準をみたすもの）を率先して導入	継続		継続			
犬山市		新規	公用車に電気自動車を1台導入予定。					
稲沢市	従来車の次世代自動車等先進エコカーへの転換促進	継続		継続	従来車の次世代自動車等先進エコカーへの転換促進（ガソリン車3台→EV3台）			



施策名	実施主体	2020年度実施した取組	2021年度実施した取組（予定も含む）		2022年度以降に実施予定の取組	
3 公用車への次世代自動車等先進エコカーの率先導入	東海市				新規	公用車に次世代自動車を導入（EV1台）
	大府市	公用車のエコカー導入	継続	電気自動車1台 新規導入	継続	
	知多市				新規	2030年までに公用車の50パーセントを電動車に切り替えていく予定
	知立市	公用車買い替え時期に次世代自動車への買替検討（購入実績0台）	継続		継続	
	尾張旭市	2020年度の買い替えはなし。計画は継続。	継続	老朽化した公用車の代替として、ハイブリッド自動車3台を購入。	継続	老朽化した公用車の代替として、ハイブリッド自動車2台を購入予定。
	高浜市	公用車への次世代自動車等先進エコカーの率先導入	終了		終了	
	岩倉市	老朽化した公用車の代替として、EV車を1台導入	継続	老朽化した公用車の代替として、ハイブリッド車を1台導入。	継続	老朽化した公用車の代替として、ハイブリッド車1台を購入予定。
	田原市	○公用車へのエコカー率先導入 公用車の更新のタイミングで低排出ガス車などへの切り替えを実施	継続	燃料電池自動車1台導入	継続	
	愛西市	公用車へのエコカー導入を率先	継続		継続	
	清須市	公用車として、電気自動車2台、ハイブリッド自動車8台、クリーンディーゼル車9台を所有。	継続	電気自動車等の購入計画・保有台数目標を作成。	継続	年度毎2台を目安に電気自動車等への更新を行う。充電設備の整備を行う。
	北名古屋	・公用車への次世代自動車等先進エコカーの率先導入 ・市役所公用車の低公害車への転換率の向上	継続		継続	
	みよし市	○公用車に低公害車等を計画的に導入 HV：0台、EV：2台、PHV：0台、FCV：1台、CDV：2台、NGV：0台、☆☆☆☆&H27燃費基準達成車：1台	継続	○公用車に低公害車等を計画的に導入 HV：1台、EV：1台、PHV：0台、FCV：0台、CDV：0台、NGV：0台、☆☆☆☆&H27燃費基準達成車：1台	継続	
	扶桑町	公用車に低公害車、低燃費車を導入。 （平成27年燃費基準15%向上達成車 1台）	継続	公用車に低公害車、低燃費車を導入。 （平成27年燃費基準15%向上達成車 1台）	継続	公用車に低公害車、低燃費車を導入。 （詳細は未定）
	蟹江町	公用車に次世代自動車等先進エコカーを導入（EV6台）	継続	公用車に次世代自動車等先進エコカーを運用（EV3台） 2021年7月をもってEV車6台中、3台はリース満了につき減車。8月より3台にて運用	継続	
	阿久比町				新規	公用車への次世代自動車等先進エコカーの導入（HV2台導入予定）
	東浦町	—			新規	公用車に次世代自動車等先進エコカーを導入（PHV1台） 22年度1台導入予定、その後も適宜導入予定
	武豊町				新規	・公用車に次世代自動車を導入 PHV1台導入予定
	東栄町	公用車の購入時に導入を検討	継続	公用車の購入時に導入を検討		
	設楽町				新規	公用車に次世代自動車等先進エコカーを導入（HV1台） 未定
	愛知県	県公用車への次世代自動車等先進エコカー導入（低排出かつ低燃費車、HV、PHV、FCV） 【実績】FCV2台、HV39台、低排出かつ低燃費車48台	継続	県公用車への次世代自動車等先進エコカー導入（低排出かつ低燃費車、HV、PHV、FCV） 【予定】EV1台、HV19台、低排出かつ低燃費車43台	継続	公用車に次世代自動車を導入 PHV1台導入予定

施策名	実施主体	2020年度実施した取組	2021年度実施した取組（予定も含む）		2022年度以降に実施予定の取組	
4 従来車の次世代自動車等先進エコカーへの転換促進	名古屋市	○グリーン配送の実施 平成18年度より、物品を納入する事業者到低公害・低燃費車などの使用を求める「グリーン配送」を実施。	継続		継続	
	春日井市	環境に配慮した取り組みを自主的かつ積極的に実施しているかすがいエコオフィス認定事業所において、次世代自動車の導入を推進	継続		継続	
	(一社)日本ガス協会(東邦ガス(株))	天然ガス自動車 16台導入 燃料電池車 1台導入	継続	天然ガス自動車 3台導入等、次世代自動車等先進エコカーへの転換推進。	継続	次世代自動車等先進エコカーへの転換推進
	一般社団法人日本自動車工業会(トヨタ自動車(株))	○ハイブリッド車グローバル累計販売台数1,600万台達成 ○ハイブリッド車開発で培ったモーター・PCU・システム制御等車両電動化技術の特許実施権を無償で提供	継続	○HEV、PHEV、BEV、FCEVを含む電動車のグローバル累計販売台数1,762万台達成(21年3月末時点)	継続	
	中部電力(株)	電動車の導入 (プラグインハイブリッド車:2台)	継続	電動車の導入 (電気自動車:12台) (プラグインハイブリッド車:37台)	継続	2030年度目標(社有車※1100%電動化※2)に向けて業務用途に合致した車両ラインナップ状況を鑑みて導入する。 ※1 レジリエンスの観点より電動化に適さない緊急工事用の特種車両を除く ※2 電気自動車(EV)・プラグインハイブリッド車(PHV)、燃料電池車(FCEV)等
	大府市	公用車をエコカーへ転換	継続		継続	
	愛知県	○セントレア水素社会形成WG 中部国際空港島のシャトルバスの運行の一部を燃料電池バスに置き換え。	継続		継続	未定
		○FCVレンタカー実証事業 県の支援によりレンタカーユーザーがFCVを利用する機会を創出し、運用時の課題等を検証。	継続	○FCVレンタカー実証事業 セントレアに立地する企業等においてFCVを一定期間レンタルし、実際の企業活動において運用することで、社用車としてのFCV導入可能性や運用の課題等を検証。	継続	未定
		○燃料電池フォークリフト普及モデル実証事業 簡易充填装置を用いた燃料電池フォークリフトへの燃料供給体制の検証し、中小企業向けの普及モデルを構築	継続		継続	未定
		○グリーン配送の実施	継続		継続	

施策名	実施主体	2020年度実施した取組	2021年度実施した取組（予定も含む）		2022年度以降に実施予定の取組	
6 電気自動車・プラグインハイブリッド自動車の普及促進	中部運輸局	次世代自動車の普及促進を図るため、地域や事業者による集中的導入を誘発・促進するような地域・事業者間連携等による先駆的な取組を行う自動車運送事業者等に対して、バス、タクシー及びトラックの次世代自動車の導入を重点的に支援するため、「地域交通のグリーン化に向けた次世代自動車普及促進事業」を公募。（自動車環境総合改善対策費補助金）	継続			
	名古屋市	○超小型モビリティ認定制度 事業者（2社）による超小型電気自動車の導入促進（計5台 実証実験を実施）	継続		終了	
	岡崎市	○電気自動車用急速充電設備開放事業 市役所、道の駅等に電気自動車充電器を整備し、一般開放している。 ○エコドライブコンテスト（11月22日開催） EV、FCVの展示の実施	継続	○電気自動車用急速充電設備開放事業 道の駅に電気自動車充電器を整備し、一般開放している。 ○エコドライブコンテスト（11月21日開催） FCVの展示の実施	継続	○電気自動車用急速充電設備開放事業 道の駅の電気自動車充電器の一般開放 ○エコドライブコンテスト FCVの展示の実施
	春日井市	コロナウイルス感染症拡大防止による春日井まつり、消費生活展等のイベント中止に伴い、電気自動車展示を中止。	継続	コロナウイルス感染症拡大防止による春日井まつり、消費生活展等のイベント中止に伴い、電気自動車展示を中止。	継続	
	豊山町		新規	11月13日に環境フェスティバルを開催し、電動バイク及び電気自動車の出展を実施した。	継続	環境フェスティバルを開催し、電動バイク及び電気自動車の出展を実施する。
	大府市	電気自動車等充電設備開放事業 電気自動車等充電設備を図書館に設置し、一般開放している。	継続		継続	
	愛知県	県としての今後のEV・PHV・FCVの普及目標と、その達成に向けた取組の方向性を示す「あいち自動車ゼロエミッション化加速プラン」を策定	継続	県としての今後のEV・PHV・FCVの普及目標と、その達成に向けた取組の方向性を示す「あいち自動車ゼロエミッション化加速プラン」に基づき普及促進を実施	継続	

(2) 燃料供給施設等のインフラ整備促進

施策名	実施主体	2020年度実施した取組	2021年度実施した取組 (予定も含む)	2022年度以降に実施予定の取組	
1 充電インフラ設備の整備促進	中部運輸局	次世代自動車の普及促進を図るため、地域や事業者による集中的導入を誘発・促進するような地域・事業者間連携等による先駆的な取組を行う自動車運送事業者等に対して、バス、タクシー及びトラックの次世代自動車の導入を重点的に支援するため、「地域交通のグリーン化に向けた次世代環境対応車普及促進事業」を公募。(自動車環境総合改善対策費補助金)	継続		
	豊橋市	○住宅用充電設備導入補助金 次世代自動車の住宅用の充電設備への補助 (4基)	継続	継続	
	春日井市	公共施設での充電設備の運用 (普通充電器19基、急速充電器7基)	継続	継続	
	碧南市	・市役所駐車場に設置した電気自動車充電スタンド1基の維持管理 ・住宅用電気自動車等充電設備への補助金交付	新規	V2Hの普及啓発を検討	継続
	豊田市	・市内公共施設に設置した34箇所45基の充電器を施設利用者に向けて無料開放 ・市HP、あいちEV・PHV普及ネットワークポータルサイト等で施設情報を公開	継続	・引き続き無料開放予定 ・市HP、あいちEV・PHV普及ネットワークポータルサイト等で施設情報を公開	継続
	日進市	○住宅用地球温暖化対策機器設置費補助金 電気自動車充電設備 (V2H) を設置した市民へ補助金の交付 (1基)	継続		継続
	中日本高速道路(株)名古屋支社	充電インフラ設備の整備促進 整備実績および整備予定なし	継続	充電インフラ設備の整備促進 (新設) 東名 赤塚PA① 東名 美合PA②	継続
	中部電力(株)	なし	継続	充電設備の設置 (事業場内: 4カ所) 参考: 既設充電コンセント数・・・約400箇所	継続
	蒲郡市	電気自動車等 (電気自動車またはプラグインハイブリッド自動車) 充電設備購入補助金を交付 (一体的導入補助、単体)	継続		継続
	大山市	電気自動車等充電設備導入補助金 (1基につき5万円)	継続	電気自動車等充電設備導入補助金 (1基につき5万円)	継続
					新規
	大府市	電気自動車等充電設備開放事業 電気自動車等充電設備を市内2カ所設置し、一般開放している。	継続		継続
	尾張旭市	○電気自動車等充電設備設置費補助 電気自動車等充電設備設置に係る経費の一部を補助 (実績: 0件)	継続		継続
	高浜市	充電インフラ設備の整備促進	終了		終了
	田原市	○電気自動車等充電設備設置費補助	継続		継続
	清須市	○住宅用地球温暖化対策設備設置費補助 電気自動車等充電設備を設置する者に対し、予算の範囲内で補助金を交付 (1台)	継続		継続
	北名古屋				新規
	みよし市	○エコエネルギー促進事業補助金 (電気自動車等充電設備) 電気自動車等充電設備を導入する個人に対して補助金を交付。 上限5万 【補助実績1件】  ○公共施設に充電設備を設置し、一般開放 普通充電3基 【2019年度1基増設】	継続		継続
	長久手市	電気自動車等充電設備設置補助	継続		継続
	東郷町	電気自動車等充電設備 (V2Hの設備に限る) の設置費等に対する補助金の交付	継続	電気自動車等充電設備 (V2Hの設備に限る) の設置費等に対する補助金の交付	継続
愛知県	○あいち次世代自動車インフラ整備推進協議会の開催 (1回) ○展示・試乗会の開催 (1回) ○次世代自動車フォーラムの開催 (1回) ○あいちFCV普及促進協議会の開催 (1回)	継続		継続	
	平成26年11月4日に運用開始した愛知県庁本庁舎正面玄関横に普通充電器 (1基) の運用	継続	愛知県環境調査センターにおいて、普通充電器 (1基) の運用開始 (本庁舎正面玄関横と併せて合計2基)	継続	
2 天然ガススタンドの整備促進	中部運輸局	物流の低炭素化促進事業の公募、周知	継続		
	(一社) 日本ガス協会 (東邦ガス(株))	国の補助金を活用して天然ガススタンドの設備更新・整備を実施し、スタンドの維持・継続を図る。(愛知県内2カ所)	継続	国の補助金を活用するなど、天然ガススタンドの設備更新・整備を実施し、スタンドを維持・継続。	

施策名	実施主体	2020年度実施した取組	2021年度実施した取組（予定も含む）	2022年度以降に実施予定の取組	
3 水素供給施設の整備促進	中部経済産業局	■中部F C V水素供給インフラ整備推進会議 ・水素ステーション整備支援 ・セミナー開催や各種情報発信等による普及啓発活動	継続	継続	
	豊田市	とよたエコフルタウンにおいて水素ステーションと燃料電池自動車の仕組みや導入の効果等をPR	継続	引続きPRを予定 継続	
	石油連盟	石油各社は、自社あるいは日本水素ステーションネットワーク合同会社（JHyM）を通じて、燃料電池自動車の普及に不可欠な水素ステーションの建設・運営に取り組んでいます。 県内ではJXTGエネルギーが計7か所のステーションを運営しています。	継続	石油各社は、自社あるいは日本水素ステーションネットワーク合同会社（JHyM）を通じて、燃料電池自動車の普及に不可欠な水素ステーションの建設・運営に取り組んでいます。 県内ではENEOSが計8か所のステーションを運営しています（2021年度中に新規1箇所開設）。 継続	
	（一社）日本ガス協会（東邦ガス株）	HySUTが実施するNEDO事業（水素ステーション関連の技術開発）に参画 ※NEDO：（国研）新エネルギー・産業技術総合開発機構 HySUT：（一社）水素供給利用技術協会	継続	HySUT等が実施するNEDO事業（水素ステーション関連の技術開発）や法改正検討会に参画 ※NEDO：（国研）新エネルギー・産業技術総合開発機構 HySUT：（一社）水素供給利用技術協会	HySUT等が実施するNEDO事業（水素ステーション関連の技術開発）や法改正検討会に参画 ※NEDO：（国研）新エネルギー・産業技術総合開発機構 HySUT：（一社）水素供給利用技術協会
		商用水素ステーション4カ所（日進市、豊田市、名古屋市、常滑市）、水素サプライセンター（東海市）の運営。	継続	商用水素ステーション5カ所（日進市、豊田市×2ヶ所、名古屋市、常滑市）、水素サプライセンター（東海市）の運営。	商用水素ステーション5カ所（日進市、豊田市×2ヶ所、名古屋市、常滑市）、水素サプライセンター（東海市）の運営。
		JHyMへの加入 ※日本水素ステーションネットワーク合同会社	継続	JHyMへの加入 ※日本水素ステーションネットワーク合同会社	JHyMへの加入 ※日本水素ステーションネットワーク合同会社
		商用水素ステーション1箇所（豊田市）の整備	終了		
	（一社）日本自動車工業会（トヨタ自動車株）	○Blue Nexusと連携し、電動化車両の普及加速に向け電動化システム販売体制を強化 ○水素社会の実現を推進する新たな団体「水素バリューチェーン推進協議会」の設立 ○再生可能エネルギー発電事業を推進する「トヨタグリーンエナジー」を設立	継続	○あらゆるモノやサービスがつながる実証都市「コネクティッド・シティ」を東富士（静岡県裾野市）に設置。「Woven City」と命名し、2021年初頭より着工 ○福島県での水素を活用した新たな未来のまちづくりに向けた検討を開始	継続
	安城市	○燃料電池自動車用水素供給設備整備費補助金制度 燃料電池自動車用水素供給設備を整備する者に補助金を交付する（0件）	継続		継続
	愛知県	○水素ステーション整備費補助金 水素ステーションの整備費の一部を補助（10件）。	継続	○水素ステーション整備費補助金 水素ステーションの整備費の一部を補助（6件）	継続
○水素ステーション需要創出活動費補助金 水素ステーションの運営費の一部を補助（28件）。		○水素ステーション需要創出活動費補助金 水素ステーションの運営費の一部を補助（32件）			

(3) 次世代自動車等先進エコカーの研究・開発

施策名	実施主体	2020年度実施した取組	2021年度実施した取組 (予定も含む)		2022年度以降に実施予定の取組	
1 次世代自動車等先進エコカーの研究・開発の促進	春日井市	地球温暖化防止月間の12月に合わせ、啓発事業を実施。電気自動車の仕組みを紹介し、市民に次世代自動車に関心を持っていただく機会とするため、春日井工業高校の生徒が作成した電気自動車を展示 (12/11～12/17)。	継続	春日井工科高校の生徒が作成した電気自動車をエコmesse春日井で展示 (11/12～11/26)	継続	
	(一社) 日本ガス協会 (東邦ガス株)	天然ガス自動車の開発促進	終了			
	(一社) 日本自動車工業会 (トヨタ自動車株)	デンヨーとトヨタ、水素で発電する燃料電池電源車を共同開発し実証運転を開始 ○トクヤマとトヨタ、副生水素を利用した定置式FC発電機の実証運転を開始	継続		継続	○水素をエネルギー源としたハイブリッド鉄道車両 (燃料電池) 試験車両の開発開始、実証試験は 2022年3月頃 (予定) ○燃料電池大型トラックの走行実証を2022年春頃より開始
	(一社) 日本自動車工業会 (トヨタ自動車株)	○新型ハリアー (HV) を発売 ○新型LS (HV) を発売 ○新型IS (HV) を発売 ○RAV4にPHEVを新設定 ○新型MIRAI (FCV) を発売 ○ヤリスクロス (HV) を発売 ○C+pod (超小型BEV) を発売	継続	○カラーラクロス (HEV) を発売 ○新型アクア (HEV) を発売 ○ライズにHEVを新設定 ○新型ES (HEV) を発売 ○新型NX (HEV) を発売、PHEVを新設定 ○UX300e (BEV) を発売 ○C+walk (超小型BEV) を発売	継続	○bZ4X (BEV) を発売予定 ○2030年に電動車800万台以上、そのうちBEV・FCEVは200万台以上を目指す。
	(一社) 日本自動車工業会	会員メーカー各社は電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池車等の次世代自動車の開発・車種展開を推進した。2020年の乗用車新車販売において次世代自動車の占める台数の全体に対する割合は、39.4%となった。	継続		継続	
	愛知県	○次世代自動車先端技術研修 中堅・中小の自動車部品メーカーの技術者等に対し、今後自動車業界で求められる次世代自動車に係る主要テーマ (電動化、燃料効率、軽量化など) について、最新技術に関する講座を実施した。 <b>【実績】</b> 県と (一社) 中部産業連盟が連携し「自動車産業フォーラム2021」を実施 開催日 第1部 2021年3月3日 (水) ～3月9日 (火) 第2部 2021年3月17日 (水) ～3月23日 (火) 参加者数 123名 開催場所 オンライン	継続	○次世代自動車先端技術研修 自動車部品メーカーの技術者等に対し、今後自動車業界で求められる次世代自動車に係る主要テーマ (電動化、カーボンニュートラル、軽量化など) について、最新技術に関する講座を実施する。 <b>【予定】</b> 県と (一社) 中部産業連盟が連携し「自動車産業フォーラム2022」を実施 開催日 第1部 2022年2月24日 (木) ～3月10日 (木) 第2部 2022年3月17日 (木) ～3月31日 (木) 開催方法 オンライン	継続	

4 エコドライブの普及促進

(1) エコドライブの実践

施策名	実施主体	2020年度実施した取組	2021年度実施した取組（予定も含む）		2022年度以降に実施予定の取組	
1 自動車運転免許の取得、更新時におけるエコドライブ教育の実施	愛知県警察本部	○ 交通の教本（全国版）、安全運転テキスト & ガイド（愛知県版）に交通公害及びエコドライブについての啓発内容を記載 ※ それぞれにエコドライブの項目を記載	継続		継続	
	愛知県	エコドライブ普及啓発リーフレットを作成、県内の自動車学校を通じ、運転免許取得予定者へ配布	継続		継続	
2 アイドリング・ストップの徹底	東海農政局	運転手へアイドリング・ストップを心がけるよう徹底。	継続		継続	
	名古屋市	○アイドリングストップの義務化 平成15年度より、市民の健康と安全を確保する環境の保全に関する条例に基づいて、アイドリング・ストップの遵守を指導。	継続		継続	
	碧南市	碧南市第3次環境基本計画の取組目標としてアイドリングストップ等のエコドライブを挙げている。	継続		継続	
	一宮市	「いちのみや気候変動対策アクションプラン2030」及び「エコアクション一宮」によるアイドリング・ストップの徹底	継続		継続	
	春日井市	公共施設の駐車場に看板を設置し、アイドリング・ストップを徹底	継続		継続	
		春日井市生活環境の保全に関する条例に基づき、駐車場面積200㎡以上の駐車場管理者に、駐車場利用者に対しアイドリングストップを周知するよう指導	継続		継続	
		環境に配慮した取り組みを自主的かつ積極的に実施しているかすがいエコオフィス認定事業所において、アイドリングストップの徹底を推進	継続		継続	
	日進市	日進市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）による、アイドリングストップの啓発	継続		継続	
	名古屋高速道路公社	○公社管理の駐車場においてアイドリング・ストップを実施 ・黒川ビル地下1階駐車場 ・高架下駐車場 ・管理基地駐車場	継続		継続	
	(一社) 愛知県トラック協会	○EMS機器導入助成（アイドリング機器含む） EMS機器を導入する事業者に対して補助金を交付（2,768件） アイドリングストップ支援機器を導入する事業者に対して補助金を交付（36台）	継続		継続	継続予定
	(公社) 愛知県バス協会	アイドリングストップ運動 9月～11月の3か月間を「バスの環境対策強化月間」として会員事業者への日常的・アイドリング・ストップ実施の呼びかけと、乗合バスの信号待ち時におけるお客様への環境対策へのご理解、ご協力呼びかけ	継続		継続	
	(一社) 日本自動車工業会	これまで作成したアニメーションを引き続き活用している。このアニメーション・ツールを更に活用するためエコドライブのeラーニングツール及び、ゲームツールも作成し、提供を継続している。自工会のホームページに掲示するのみならず、地方自治体や関連団体へのエコドライブ啓発活動に提供した。	継続		継続	
	瀬戸市	公用車のアイドリング・ストップの徹底	継続		継続	
小牧市	・小牧市環境マネジメントマニュアルに基づいた運用手順書によりアイドリングストップに努めている	継続		継続		

施策名	実施主体	2020年度実施した取組	2021年度実施した取組（予定も含む）	2022年度以降に実施予定の取組		
2 アイドリング・ストップの徹底	稲沢市	アイドリング・ストップの徹底 市庁舎駐車場にアイドリングストップを徹底するために案内ポスターを掲示。	継続	アイドリング・ストップの徹底 市庁舎駐車場にアイドリングストップを徹底するために案内ポスターを掲示。	継続	
	大府市	環境マネジメントシステムに基づいた手順書によりアイドリング・ストップを推進している。	継続		継続	
	知多市	○アイドリング・ストップの徹底 アイドリング・ストップに協力して宣言していただける市民、事業者の募集。宣言した方に、ステッカーを配布	継続		継続	
	知立市	アイドリングストップ徹底を職員に啓発	継続		継続	
	尾張旭市	○アイドリングストップの励行 尾張旭市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に基づき、職員にアイドリングストップを励行	継続		継続	
	高浜市	アイドリング・ストップの徹底	継続		継続	
	岩倉市	アイドリングストップの励行	継続		継続	
	愛西市	環境基本計画によりアイドリング・ストップ等のエコドライブの推進	継続		継続	
	みよし市	○アイドリング・ストップの徹底 公用車のアイドリング・ストップを徹底	継続		継続	
	扶桑町	アイドリングストップの啓発実施 （広報誌（11月号）に啓発記事を掲載。）	継続	同左	継続	同左
	阿久比町		新規	公共施設の駐車場に看板を設置し、アイドリング・ストップを徹底	継続	
	南知多町	町が委託している乗り合いバス（海っ子バス）において、運行会社がアイドリングストップを推奨する運行をおこなっている。	継続		継続	
	愛知県	・県条例においてアイドリングストップの実施を規定 ・アイドリングストップを徹底させるため、財産管理課自動車運転手に対して文書による注意喚起を実施	継続		継続	
3 事業所におけるエコドライブ推進リーダーの設置	名古屋市	○エコドライブマイスターの認定 平成20年度から、事業所内で積極的にエコドライブの実践を呼びかける「エコドライブマイスター」を認定。（累計4,281名認定）	継続	○エコドライブマイスターの認定 平成20年度から、事業所内で積極的にエコドライブの実践を呼びかける「エコドライブマイスター」を認	継続	
	(一社)愛知県トラック協会	○省エネ走行研修会 12月6日に実施（21社51名）	継続	○省エネ走行研修会 12月11日に開催予定	継続	継続予定
	愛知県	中部トラック総合研修センターにおいてエコドライブ講習会を実施（JAFと共催） 【実績】3回開催、受講者42名	継続	中部トラック総合研修センターにおいてエコドライブ講習会を実施見込み（JAFと共催）	継続	
5 シンポジウムやコンテスト等イベントの開催	名古屋市	○エコドライブトレーニング エコドライブ運転を学ぶ体験型講習会を開催。 （11月8日 計6名）	継続	○エコドライブセミナー エコドライブ運転を学ぶ座学の講習会を開催。 （11月10日、計85名） ○エコドライブトレーニング エコドライブ運転を学ぶ体験型講習会を開催。 （10月31日、11月7日 計17名）	継続	
	豊橋市	豊橋市主催環境イベント内でブースを設置し、エコドライブに関するクイズや缶バッジ作成等を通じ啓発を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベントが中止となり未実施	継続	豊橋市主催環境イベント内でブースを設置し、エコドライブに関するクイズや缶バッジ作成等を通じ啓発を行った	継続	
	岡崎市	○エコドライブコンテスト（11月22日開催）	継続	○エコドライブコンテスト（11月21日開催）	継続	○エコドライブコンテスト
	春日井市	エコドライブ講習会（12月17日開催、9名参加）	継続	エコドライブ講習会（10/28開催、8名参加）	終了	
	豊田市	未実施	継続	各種イベントにおいて、歩行者優先の安全運転の実践とともに環境にも配慮した運転を呼び掛け呼び掛け	継続	各種イベントにおいて、歩行者優先の安全運転の実践とともに環境にも配慮した運転を呼び掛け呼び掛け



施策名	実施主体	2020年度実施した取組	2021年度実施した取組（予定も含む）	2022年度以降に実施予定の取組	
	(一社) 日本自動車連盟愛知支部	実車を使用して環境に優しい「エコドライブ」を学ぶ講習会を実施。車両に取り付けた燃費計とデータ記録装置を使って、参加者が運転した際の燃費をトレーニングの前後で計測、運転の特徴などを数値で把握し、その結果をもとに参加者に応じたアドバイスで「エコドライブ」を修得を目指す。 愛知共催：9月4名参加 名古屋共催：11月6名参加	継続 実車を使用して環境に優しい「エコドライブ」を学ぶ講習会を実施。車両に取り付けた燃費計とデータ記録装置を使って、参加者が運転した際の燃費をトレーニングの前後で計測、運転の特徴などを数値で把握し、その結果をもとに参加者に応じたアドバイスで「エコドライブ」を修得を目指す。 名古屋共催：10月8名参加、11月9名参加 愛知県共催：2022年3月に開催予定	内容検討中	
	(一社) 日本自動車工業会	サウジアラビアの自動車高等教育にエコドライブの講演を実施。	継続	継続	
6 環境教育の推進	岡崎市	○環境学習 0回（新型コロナウイルス感染症の影響により）	継続 ○環境学習 5回実施（5月18日、11月12日、12月3日、1月20日（予定）、2月25日（予定））	継続 ○環境学習	
	春日井市	エコドライブ普及啓発のため、実施方法がわかるステッカーを作成し公用車に貼付	継続	継続	
		春日井市無事故コンテストの一環として、交通事故の削減につながるエコドライブの取組みを実施（8月）	継続 7月実施	継続	
		地球温暖化対策の毎月の重点取組み項目として、公用車のエコドライブを推進（11、12月実施）	継続 11月実施	新規 エコドライブに関する講座情報のHP発信を検討	
	豊川市	○職員向けの研修にてエコドライブを啓発 ・9/2開催、50人参加	継続 ○職員向けの研修にてエコドライブを啓発 ・9/8開催、46人参加	継続 ○職員向けの研修にてエコドライブを啓発	
	碧南市	6月の「環境月間」、11月の「エコドライブ月間」、12月の「地球温暖化防止月間・大気汚染防止月間」にあわせ、広報紙で啓発している。	継続	継続	
	豊田市	交通安全学習センターの交通安全講習（企業向け）等において、歩行者優先の安全運転の実践とともに環境にも配慮した運転を呼び掛け	継続	交通安全学習センターの交通安全講習（企業向け）等において、歩行者優先の安全運転の実践とともに環境にも配慮した運転を呼び掛け	継続 交通安全学習センターの交通安全講習（企業向け）等において、歩行者優先の安全運転の実践とともに環境にも配慮した運転を呼び掛け
		未実施	継続	高齢者運転技術講習会にて、歩行者優先の安全運転の実践とともに環境にも配慮した運転を呼び掛け	継続 高齢者運転技術講習会にて、歩行者優先の安全運転の実践とともに環境にも配慮した運転を呼び掛け
	名古屋高速道路公社	○エコドライブの普及促進 ・ドライバーに対して、ラジオCM、ホームページ、道路情報板、チラシによる道路環境改善の啓発活動の実施	継続		継続
	常滑市	地球温暖化防止月間・大気汚染防止推進月間における啓発の一環として、市広報紙でエコドライブを推奨	継続	地球温暖化防止月間・大気汚染防止推進月間における啓発の一環として、エコドライブを推奨	継続
	小牧市	・ホームページにてエコドライブを啓発	継続		継続
	大府市	職員向けの研修にてエコドライブを啓発 市民向け講座での啓発	継続		継続
	東浦町	職員に向けて、エコドライブを推奨する	継続		継続

(2) エコドライブシステムの普及

施策名	実施主体	2020年度実施した取組	2021年度実施した取組（予定も含む）		2022年度以降に実施予定の取組	
1 エコドライブ支援システムの普及	(一社) 日本自動車工業会	燃費計などのエコドライブツールの装着に積極的に取組んだ。その結果、2020年に販売された乗用車については、ほぼすべての車種でエコドライブツールが装着された。	継続		継続	
	(一社) 日本自動車工業会（トヨタ自動車㈱）	○乗用車にエコドライブ支援装置を装着して販売	継続		継続	
2 エコドライブ評価システムの普及	中部地方環境事務所	エコドライブに関する普及啓発 希望者に対し「エコドライブ10のすすめ」リーフレットの配布を行っている。	継続		継続	
	豊田市	エコモビ実践キャンペーン等への参加促進により、エコドライブの実践を啓発	継続	エコモビ実践キャンペーン等への参加促進により、エコドライブの実践を啓発	継続	エコモビ実践キャンペーン等への参加促進により、エコドライブの実践を啓発
	(一社) 愛知県トラック協会	○グリーン経営認証取得助成 取得費用の一部を補助する（新規5件 更新55件）	継続		継続	継続予定
	(一社) 日本自動車工業会	一部のトラックメーカーにおいてではあるが、運送事業者向けにオンラインでの燃費管理システムを提供するとともに、燃費向上のための運転技術に関する講習会を開催。	継続		継続	

5 交通需要の調整・低減

(1) 物流の改善

施策名	実施主体	2020年度実施した取組	2021年度実施した取組（予定も含む）		2022年度以降に実施予定の取組	
2 モーダルシフトの促進	中部運輸局	「モーダルシフト等推進事業」の推進により、CO2排出原単位の小さい輸送手段への転換を推進し低炭素型の物流体系の構築を図る。	継続			
	中部地方環境事務所	○社会変革と物流脱炭素化を同時実現する先進技術導入促進事業（国交省連携事業）のうち、トラック輸送高効率化支援事業 対象者：民間事業者、団体 対象車両：連結トラック、スワップボディコンテナ	終了	※事業は継続だが、「トラック輸送高効率化支援事業」は令和2年度で終了。		
3 積載率の向上等の徹底	春日井市	環境に配慮した取り組みを自主的かつ積極的に実施しているかすがいエコオフィス認定事業所において、最大積載量の遵守、燃費管理の徹底を実施	継続		継続	
5 物流拠点等の整備促進	中部運輸局	「物流業務の総合化及び効率化の促進に関する法律」（H17年7月公布、H17年10月施行、平成28年10月改正）に基づく、物流拠点の集約化等によりCO2排出量削減等が図られる総合効率化計画の認定（愛知県内認定件数：5件）	継続			

(2) 公共交通機関の整備及び維持・充実、利用促進

施策名	実施主体	2020年度実施した取組	2021年度実施した取組（予定も含む）		2022年度以降に実施予定の取組	
1 公共交通機関の整備及び維持・充実	中部地方環境事務所	○地球温暖化に資する国民運動「COOL CHOICE」の推進のうち、公共交通の利用促進「smart move（スマートムーブ）」普及啓発事業	継続		継続	
	名古屋市	○地下鉄東山線の終電時刻延長 平成26年7月より、金曜日及び休日の前日（8月13日～15日、12月29日～1月3日、土・日・休日は除く）における終電を45分延長 新型コロナウイルス感染症対策のため、地下鉄東山線の金曜日及び休日前の終電延長を休止（2020年4月24日から5月29日、8月7日から当面の間）	継続	・2020年8月7日から終電延長を休止中	継続	・未定
		○地域巡回バスの運行時間帯拡大 平成27年4月より、地域巡回バス全22系統において、従来の8往復（9時台～16時台）に加え1往復（8時台または17時台）を増便	継続		継続	
		○バス停留所施設の整備 照明付き標識68基、上屋18基、ベンチ28基、基幹バス2号シェルター改修1基	継続	・照明付き標識75基、上屋18基、ベンチ13基、基幹バス2号シェルター改修1基	継続	・照明付き標識70基、上屋20基、ベンチ15基、基幹バス2号シェルター改修1基
	豊橋市	○幹線バス路線終バス延長実施 豊鉄バス西口線・豊橋技科大線・中浜大崎線の3路線について、豊橋駅前の下り便を金曜日・土曜日の現行の終バス後に1本増発 豊鉄バス「元気バス」購入助成による高齢者への路線バス利用促進	継続	新型コロナウイルス感染症の影響により運休	継続	
		○夏休み小学生50円バス 新型コロナウイルス感染症の影響により中止	継続	○夏休み小学生50円バス実施 小学生の路線バスの利用促進を図るため、夏休み期間中に交通事業者及び東三河各市町村が連携して、東三河の路線バスのこども運賃を1乗車一律50円とする	継続	2021年度中に今後の取り組み方針について決定
	岡崎市	○中山間地域におけるコミュニティバス等の運行	継続		継続	
		○公共交通の利用促進 11月上旬に公共交通に親しむ日を実施し、公共交通に対する意識改革と利用の動機づけを行う。 （新型コロナウイルスの感染拡大の影響により中止）	継続	○公共交通の利用促進 11月上旬に公共交通に親しむ日を実施し、公共交通に対する意識改革と利用の動機づけを行う。（新型コロナウイルスの感染拡大の影響により中止）	継続	○公共交通の利用促進 11月上旬に公共交通に親しむ日を実施し、公共交通に対する意識改革と利用の動機づけを行う。

施策名	実施主体	2020年度実施した取組	2021年度実施した取組（予定も含む）		2022年度以降に実施予定の取組		
1 公共交通機関の整備及び維持・充実	一宮市	i-バスの運行	継続		継続		
		i-バスミニの運行	継続		継続		
	半田市	地域公共交通会議の開催 【防災交通課】	継続		継続		
		地区路線バスの整備 ※既存の地区路線バス3路線に加え、交通空白地域に新規の地区路線バス1路線を導入 【防災交通課】	継続	交通空白地域に新規の地区路線バス2路線を導入	継続		
	春日井市	地球環境に優しい行動を積極的にを行う日として、毎月第1水曜日を「エコライフDAY」と定め、自転車や公共交通機関の利用を啓発	継続		継続		
		次世代自動車の導入、自動車利用の抑制およびエコドライブの推進など環境に配慮した取り組みを自主的かつ積極的に実施している事業所などを「かすがいいコオプイス」と認定し、その取り組みを促進	継続		継続		
		愛知環状鉄道災害対策補助令和2年7月の豪雨により災害を受けた鉄道の安全安定輸送を確保するために会社が行う仮復旧を含めた復旧強化事業に係る補助金の交付	終了				
		かすがいいシティバスの運行	継続	かすがいいシティバスの運行 ・路線ダイヤの見直し	継続		
			新規	北部オンデマンドバスの運行開始	継続		
		愛知環状鉄道災害対策補助令和2年7月の豪雨により災害を受けた鉄道	終了				
	豊川市	○コミュニティバス10路線を運行し、その利用促進策として「1日フリー乗車券の通年発売」、「東三河リアル謎解きゲーム」等を実施。 ・夏休み小学生50円バス 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止。代わりに「東三河リアル謎解きゲーム」を実施。 ・夏休み路線バス探検キャラバン 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止。 ・1日フリー乗車券通年販売 ・コミュニティバス体験乗車会 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止。 ・コミュニティバス乗り方教室 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により申込みなし。 ・標準的なバス情報フォーマット整備 標準的なバス情報フォーマットを整備することにより、Googleマップにおいて市内バス路線及び鉄道の一体的な経路検索を可能にした。 ・沿線市町で連携して補助することにより、豊鉄バス全線におけるバスロケーションシステムを導入。	継続	○コミュニティバス10路線を運行し、その利用促進策として「1日フリー乗車券の通年発売」、「夏休み小学生50円バス」等を実施。 ・夏休み小学生50円バス ・整理券ラリー・歴史謎解きゲーム ・夏休み路線バス探検キャラバン 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止。 ・1日フリー乗車券通年販売 ・コミュニティバス体験乗車会 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止。 ・コミュニティバス乗り方教室 申込みに応じて随時開催予定。	継続	○コミュニティバス10路線を運行し、その利用促進策として「1日フリー乗車券の通年発売」、「夏休み小学生50円バス」等を実施。 ・夏休み小学生50円バス ・整理券ラリー・歴史謎解きゲーム ・夏休み路線バス探検キャラバン ・1日フリー乗車券通年販売 ・コミュニティバス体験乗車会 ・コミュニティバス乗り方教室	
		津島市	○公共交通機関の整備及び維持・充実、利用促進市民等の活動支援及び公共施設利用の利便性の向上を図るため、津島市巡回バス「ふれあいバス」の運行をした。 10月1日より「ふれあいバス」の運行が不便な地域に、タクシーを使った接続便の試験運行を開始した。	継続	○公共交通機関の整備及び維持・充実、利用促進市民等の活動支援及び公共施設利用の利便性の向上を図るため、津島市巡回バス「ふれあいバス」の運行をした。 9月30日まで「ふれあいバス」の運行が不便な地域に、タクシーを使った接続便の試験運行を行った。	継続	
	碧南市	ぐるくるバス（市内巡回バス）を4路線に分け、運賃無料で運行している。	継続		継続		
	豊田市	効率的で利便性の高い公共交通の実現を目指すため、必要に応じて路線改編を行うとともに、バス評価とそれに伴う地域バス支援を実施。	継続	効率的で利便性の高い公共交通の実現を目指すため、必要に応じて路線改編を行うとともに、バス評価とそれに伴う地域バス支援を実施。	継続	効率的で利便性の高い公共交通の実現を目指すため、必要に応じて路線改編を行うとともに、バス評価とそれに伴う地域バス支援を実施。	

施策名	実施主体	2020年度実施した取組	2021年度実施した取組（予定も含む）		2022年度以降に実施予定の取組	
1 公共交通機関の整備及び維持・充実	西尾市	2020年度からデマンド型からタクシー補助式へ変更したため、あいち自動車戦略2020の取り組み事項としては、2019年度をもって終了。	終了			
		コミュニティバス(六万石くるりんバス、いっちゃんバス)の運行事業委託	継続		継続	
	新城市	・名鉄西尾・蒲郡線の利用促進 市民応援団に利用促進業務を委託。また、利用者数増進のため、団体・親子に対し運賃補助。 (団体：33団体、親子：246組) ・鉄道施設維持管理費を負担	継続		継続	
		○公共交通機関の整備及び維持・充実・利用促進 市バス事業を実施	継続		継続	
	日進市	○公共交通機関の整備及び維持・充実・利用促進 高速乗合バス事業を実施（新城～藤が丘）	継続		終了	
	日進市	コミュニティバス（くるりんばす）の運行	継続		継続	
	豊山町	地域公共交通会議の開催	継続	地域公共交通会議の開催	継続	地域公共交通会議の開催
	大口町	コミュニティバス運行事業	継続		継続	
	名古屋高速道路公社	○道路の広域ネットワークの形成（名古屋高速道路の建設） ・（仮称）新黄金出入口、（仮称）新洲崎出入口、（仮称）栄出入口、（）丸田町JCT西・南渡り線	継続		継続	
	NPO法人ボランティアリーネイバース	公共交通機関の利用促進（スタッフ通勤・社用時利用）		公共交通機関の利用促進（スタッフ通勤・社用時利用）		
	瀬戸市	瀬戸市コミュニティバス（8路線）の運行 バスの乗り方教室開催（年1回） 菱野団地住民バス運行	継続	瀬戸市コミュニティバス（8路線）の運行 市内イベントに名鉄バス参加（年1回） バスの乗り方教室開催（年1回） 菱野団地住民バス運行	継続	
	刈谷市	○刈谷市公共施設連絡バスのダイヤ改正等に関する検討を実施した。	継続	○刈谷市公共施設連絡バスのダイヤ改正を実施した。	継続	○刈谷市公共施設連絡バスの利便性向上に向け路線再編等を検討予定。
	安城市	○あんくるバスの運行 11路線でコミュニティバスの運行を実施 ○あんくるタクシーの運行 3地区においてデマンドタクシーの運行を実施	継続		継続	
		安城市民であり、かつ、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳所持者のあんくるバス及びあんくるタクシーの無料乗車の実施（H26.10.1～）	継続		継続	
	蒲郡市	三谷地区支線バス「おおしまくるりんバス」運行	継続		継続	
			新規	大塚地区支線バス「ひめはるくるりんバス」運行	継続	
東部地区支線バス「とがみくるりんバス」運行		継続		継続		
西部地区支線バス「みかんの丘くるりんバス」運行		継続		継続		
形原地区支線バス「あじさいくるりんバス」運行		継続		継続		
「市民まるごと赤い電車応援団」を主体とした名鉄利用促進活動の実施		継続		継続		
犬山市	コミュニティバスの運行	継続	コミュニティバスの運行	継続	コミュニティバスの運行予定	
常滑市	コミュニティバスの運行	継続		継続		

施策名	実施主体	2020年度実施した取組	2021年度実施した取組（予定も含む）	2022年度以降に実施予定の取組	
1 公共交通機関の整備及び維持・充実	江南市	○公共交通機関利用促進のための啓発 市役所等で公共交通機関のチラシ等を配付	継続 高齢者教室で、高齢者に対し、公共交通機関のPRの講義及び路線バスの乗降体験を実施	継続	
	小牧市	・コミュニティバスの運行 23路線を17台で運行（12/31～1/4は除く） ※19路線18台から23路線17台へ再編	継続	継続	
	稲沢市	コミュニティバスの運行 5路線6系統 延べ利用者数 130,632人	継続	コミュニティバスの運行	コミュニティバスの運行
		コミュニティバス接続便の運行 延べ利用者数 233人	継続	コミュニティバス接続便の運行	コミュニティバス接続便の運行
		稲沢おでかけタクシー実証実験の実施 延べ利用者数 36,435人	継続	稲沢おでかけタクシーの実施	稲沢おでかけタクシーの実施
	東海市	○75歳以上の市内循環バス運賃無料化 75歳以上の市内在住者に専用バスケースを配布。後期高齢者被保険者証とセットで使用することで市内循環バスの運賃を無料化した	継続		継続
		○公共交通機関の整備及び維持・充実 東海市循環バスの運行 3ルート6系統 利用者数：299,336人	継続		継続
		○公共交通機関の利用促進 将来的なバス利用者育成を目的として、市内小学生向けに「バスの乗り方教室」を実施	継続	令和3年11月8日 三ツ池小学校で実施済み	継続
		○運転免許証を自主返納した方の市内循環バス運賃無料化 運転免許証を自主返納した方に特別乗車カードと専用バスケースを配布し、市内循環バスの運賃を無料化した	継続		継続
		○公共交通機関の利用促進 ダイヤ・ルート改正、バスロケーションシステムの導入	継続		継続
			新規	○公共交通機関の利用促進 GTFSデータの公開	継続
	大府市	公共交通機関の維持、利用促進 循環バス「ふれあいバス」を運行	継続		継続
			新規	○循環バス全車両に抗菌処理 令和3年9月21日実施済み	
	知多市	・コミュニティバスの運行 ・利用者アンケートの実施及び結果を踏まえたルート変更 ・65歳以上の運転免許自主返納者及び75歳以上の市民に対する無料あいバスの発行 ・乗降調査の実施	継続	・バスロケーションシステムの導入	継続
	知立市	コミュニティバスの運行	継続		継続
	尾張旭市	○公共交通機関の整備及び維持・充実 市営バス「あさびー号」の運行 路線数：2（西ルート・東ルート） 便数：平日9便、土休日5便 利用者数193,534人	継続		継続
		○公共交通機関の利用促進 市営バスに無料で乗車できる利用券を市の広報誌で市民へ配布し、市民の外出を促す	終了		
	岩倉市	○公共交通機関の充実 市営バスの運行に係る車いす対応車両を導入	継続		継続
ふれあいタクシーの運行		継続		継続	
豊明市	○公共交通機関の整備及び維持 乗り合い送迎サービス車（チョイソコ）を運行	継続		継続	
	○公共交通機関の整備及び維持 地域運行バス（ひまわりバス）を運行	継続		継続	

施策名	実施主体	2020年度実施した取組	2021年度実施した取組（予定も含む）		2022年度以降に実施予定の取組	
1 公共交通機関の整備及び維持・充実	田原市	○田原市コミュニティバスの運行 公共交通空白地域の解消及び市街地の活性化のため、市内5路線の運行実施	継続		継続	
	愛西市	愛西市巡回バスの運行	継続		継続	
	清須市	コミュニティバス（きよすあしがるバス）の運行	継続		継続	
	北名古屋	市内循環バス「きたバス」の運行	継続		継続	
	弥富市	コミュニティバスの運行	継続		継続	
	みよし市	○コミュニティバス（さんさんバス）の運行	継続		継続	
	長久手市	令和元年度に作成したNーバス再編方針案をもとに路線案及びダイヤ案の策定を行う。また、Nーバスの運行を持続させるため運賃の値上げを行う。	継続	令和3年4月に路線再編を行う。	継続	
	東郷町	コミュニティバス（じゅんかい君）の運行	継続	コミュニティバス（じゅんかい君、東郷・藤田医大バス）の運行	継続	
		デマンドタクシー実証実験（第一期）	継続	デマンドタクシー実証実験（第二期、第三期）	継続	デマンドタクシー本運行検討
	飛島村	公共交通機関の維持 飛島バス（蟹江線・名港線）の運行 乗合タクシーによる海南病院と村バス停間の運行	継続			
	阿久比町	公共交通機関の利用促進 循環バスの運行	継続		継続	
	東浦町	バスの乗り方教室	新規	・グループインタビューの開催 ・ワークショップの開催	継続	・バスの乗り方教室の開催 ・バスギャラリーの開催
	武豊町	○コミュニティバス・接続タクシーの運行。また、「70歳以上の方」・「65歳以上で運転免許証を自主返納した方」にコミュニティバスと接続タクシーの無料乗車券を配布	継続		継続	
愛知県	○公共交通機関の整備及び維持・充実、利用促進 自家用車で通勤している職員の内、公共交通機関で通勤できる職員については、公共交通機関を利用するよう呼びかけている。	継続		継続		

施策名	実施主体	2020年度実施した取組	2021年度実施した取組（予定も含む）		2022年度以降に実施予定の取組	
2 乗合バス事業者等への補助	豊橋市	○路線維持費補助金 路線バスへの支援	継続		継続	
		○コミュニティバス運行事業費補助 公共交通空白地域における高齢者等の移動手段を確保する	継続		継続	
	岡崎市	○不採算バス路線の確保維持 不採算バス路線を確保することで、地域住民の生活交通の確保維持を行った。	継続	○不採算バス路線の確保維持 不採算バス路線を確保することで、地域住民の生活交通の確保維持を行った。	継続	○不採算バス路線の確保維持 不採算バス路線を確保することで、地域住民の生活交通の確保維持を行う。
	一宮市	バス路線維持対策補助金	継続		継続	
	半田市	乗合バス事業者等への補助 ※市内を運行する路線バス会社に補助 【防災交通課】	継続		継続	
	春日井市	廃止代替路線補助 名鉄バスの運行する東野線・玉野台循環線に欠損が生じた際に補助金を交付	継続		継続	
		○工業振興共同事業助成金 事業者が共同で行う通勤バス等の通勤支援業務委託に対して助成金を交付。（助成額：対象経費の50%以内、限度額：3,000万円/年） （1件）	継続	1件交付済	継続	
	尾張旭市	○乗合バス事業者への補助 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による減収分を補てん。	継続		継続	未定
	豊川市	・地方バス路線運行対策費補助金を広域バス路線の運行事業者である豊鉄バス（新豊線・豊川線）へ交付 （補助金額）豊鉄バス：25,503千円	継続	・地方バス路線運行対策費補助金を広域バス路線の運行事業者である豊鉄バス（新豊線・豊川線）へ交付	継続	・地方バス路線運行対策費補助金を広域バス路線の運行事業者である豊鉄バス（新豊線・豊川線）へ交付
	碧南市	乗合バス事業者（ふれんどバス）に対する補助を実施	継続		継続	
	豊田市	対象となる市内民間路線への欠損額補助を実施予定	継続	対象となる市内民間路線への欠損額補助を実施予定	継続	対象となる市内民間路線への欠損額補助を実施予定
	西尾市	乗合バス事業者（ふれんどバス、名鉄東部交通バス）に対する補助を実施	継続		継続	
	豊山町	バス運行補助負担金（路線バスの支援）	継続	バス運行補助負担金（路線バスの支援）	継続	バス運行補助負担金（路線バスの支援）
	瀬戸市	市内基幹バス運行事業者（名鉄バス）へ運行経費の補助	継続		継続	
	刈谷市	○乗合バス事業者への路線維持費補助 名鉄バスが運行する刈谷・愛教大線を維持するため、補助を実施した。	継続		継続	



施策名	実施主体	2020年度実施した取組	2021年度実施した取組（予定も含む）		2022年度以降に実施予定の取組	
2 乗合バス事業者等への補助	安城市	○路線バス事業者への補助 市内を運行する路線バス2路線に対し、運行継続のための補助を実施	継続		継続	
	蒲郡市	特定区画バス運行補助金を名鉄バス株式会社に交付	継続		継続	
	江南市	○乗合バス事業者への補助 5路線 (江南・病院線、江南団地A線、D線、E線、木曾川線)	継続		継続	
	小牧市	・名鉄バスの間内・岩倉線への運行費補助	継続		継続	
	知多市	・市内路線バス3路線（岡田線・日長団地線・佐布里線）の運行事業者に対する運行維持を目的とした補助金の交付 ・乗降調査の実施	継続		継続	
	高浜市	乗合バス事業者等への補助	継続		継続	
	田原市	○地方バス路線支援 生活交通路線を維持するため、豊鉄バス伊良湖本線及び支線運行を支援	継続		継続	
	東郷町	乗合バス事業者（名鉄バス）への補助 (1路線、1件)	継続			
	南知多町	乗り合いバス（海っ子バス）を委託し運行している。	継続		継続	
	愛知県	乗合バス事業者等への補助 三河山間地域における生活基盤として重要な役割を果たしている過疎バス及び過疎特定バス路線を維持・確保するため、欠損額等について助成した。 乗合バス 4路線 →過疎：3路線、過疎特定：1路線 市町村営バス 32路線 →過疎：23路線、過疎特定：9路線  ○ 乗合バス事業者への補助 地域住民の生活の足の確保・維持を目的として、広域的・幹線的なバス路線を運行する乗合バス事業者に対し、欠損額等について助成する。（5事業者へ交付）	継続	(1) 乗合バス事業者等への補助 三河山間地域における生活基盤として重要な役割を果たしている過疎バス路線を維持・確保するため、欠損額等について助成する。 乗合バス 3路線（予定） 市町村営バス 34路線（予定） (2) 運行車両購入に対する補助 三河山間地域のうち、財政力指数が0.5未満の町村（設楽町、東栄町、豊根村）の補助対象路線（国庫補助金の交付を受ける車両は補助対象外）に対し、車両購入費の一部を助成する。	継続	
3 交通結節点の改善	春日井市	名鉄味美駅において、駅前広場及び駅周辺道路整備の詳細設計を実施	終了			
			新規	名鉄春日井駅自由通路の予備設計を実施	継続	名鉄春日井駅自由通路の詳細設計を実施
	東郷町	バスターミナルの整備及び路線の再編	終了			
	豊田市	豊田市駅バス乗降口整備の予備設計及び関係機関協議	継続	豊田市駅バス乗降口整備の詳細設計及び関係機関協議	継続	豊田市駅バス乗降口整備の詳細設計及び関係機関協議
	新城市	○交通結節点の改善 JR新城駅において駅前広場整備を実施（令和2年度完了）	終了		終了	
	瀬戸市	乗継時間を考慮したダイヤの見直し	継続		継続	
	刈谷市	○モニター設置 生きがいセンターバス停、総合運動公園バス停にモニターを設置した。	終了		終了	
	碧南市	交通結節点の改善 碧南駅前の整備	継続	(令和6年度まで継続)	継続	

施策名	実施主体	2020年度実施した取組	2021年度実施した取組（予定も含む）		2022年度以降に実施予定の取組	
4 パーク・アンド・ライド駐車場の整備	名古屋市	○パークアンドライド駐車場の整備及び利用促進 ・認定制度による民間駐車場の有効活用 ・ウェブサイトによる認定パークアンドライド駐車場の広報	継続		継続	
	半田市	パーク・アンド・ライド駐車場の管理・運営 ※半田市雁宿駐車場 【防災交通課】	継続		継続	
	碧南市	市内3ヶ所のパークアンドライドを維持管理している。 収容台数：84台（30台、32台、22台）	継続		継続	
	豊田市	愛知環状鉄道駅沿いに5駐車場（貝津駅、末野原駅、四郷駅、保見駅、八草駅）を引き続き運用	継続	愛知環状鉄道駅沿いに5駐車場（貝津駅、末野原駅、四郷駅、保見駅、八草駅）を引き続き運用	継続	愛知環状鉄道駅沿いに5駐車場（貝津駅、末野原駅、四郷駅、保見駅、八草駅）を引き続き運用
	大府市	市営駐車場の運営、啓発	継続		継続	
	田原市	○田原駅南公共駐車場の管理・運営 パーク＆ライド駐車場として位置付けられている田原駅南公共駐車場の管理・運営	継続		継続	
	東浦町	今後、パークアンドライド登録制度の実施を検討。	継続	今後、パークアンドライドを推進する方法を検討していきたい。	継続	今後、パークアンドライドを推進する方法を検討し、事業の推進を図りたい。
	愛知県	○ 桃花台線旧車両基地用地の一部をパーク＆ライド駐車場として活用 中央道高速バスの停留所に隣接する桃花台線旧車両基地用地（愛知県と小牧市の共有地）の一部を駐車場事業者へ貸付し、パーク＆ライド駐車場として活用。 ○ 愛・地球博記念公園駅北側パーク＆ライド駐車場の運営（パーク＆ライド推進会議で運営） リノモの利用促進及び車から公共交通（リノモ）への転換を図るため、愛・地球博記念公園駅北側においてパーク＆ライド駐車場を運営。	継続	継続	継続	継続
5 バリアフリー化の促進	中部運輸局	「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」に基づき、ハード面では施設や車両等のバリアフリー化の補助事業による推進、ソフト面では誰もが自然に快くサポートできる「心のバリアフリー」の啓発事業により、公共交通機関の利便性及び安全性の向上に取り組む。	継続			
	名古屋市	○車両・施設の整備改良等 ・名城線・名港線への可動式ホーム柵の設置（2020年度完成） ・名城線・名港線への可動式ホーム柵の設置に向け、定位置停止のための車両改造等24両（4編成） ・鶴舞線への可動式ホーム柵整備に向けた測量 ・車いすスペースが設置された地下鉄車両の導入 鶴舞線車両1編成 135編成中109編成（80.7%）	継続	・鶴舞線への可動式ホーム柵整備に向けた設計 ・車いすスペースが設置された地下鉄車両の導入 鶴舞線車両3編成 135編成中112編成（83.0%）	継続	・鶴舞線への可動式ホーム柵整備に向けた設計 ・鶴舞線可動式ホーム柵の設置に向けた電気設備の改修等 ・車いすスペースが設置された地下鉄車両の導入 鶴舞線車両1編成 135編成中113編成（83.7%）
		○施設の整備 ・改札内での乗換えエレベーターの整備 2駅（栄駅（2020年度完了）、今池駅） ・エレベーターの整備	継続	・改札内での乗換えエレベーターの整備 1駅（今池駅（2021年6月供用）） ・エレベーターの整備 継続2駅（伏見駅、御器所駅）	継続	・エレベーターの整備 継続2駅（伏見駅、御器所駅）、新規1駅（本山駅）
		○地下鉄駅施設の整備 ・トイレリニューアルによる整備 4駅（名古屋駅、上前津駅、東山公園駅、伝馬町駅） ・トイレリニューアルの設計 13駅（伏見駅、久屋大通駅、黒川駅、大曽根駅、大須観音駅、藤が丘駅※、本山駅、浄心駅、高岳駅、中村区役所駅、砂田橋駅、岩塚駅、六番町駅） ※藤が丘駅の設計は、2021年度完了	継続	・トイレリニューアルによる整備 8駅（久屋大通駅、大曽根駅、大須観音駅、藤が丘駅※、岩塚駅、本山駅、六番町駅、高岳駅） ※藤が丘駅は2022年度完了予定 ・トイレリニューアルの設計 4駅（桜山駅、名古屋港、藤が丘駅、国際センター駅）	継続	・トイレリニューアル等による整備（予定） 9駅（伏見駅、桜山駅、黒川駅、名古屋港駅、藤が丘駅、浄心駅、中村区役所駅、国際センター駅、砂田橋駅） ・トイレリニューアルの設計（予定） 8駅（今池駅、鶴舞駅、丸の内駅、ナゴヤドーム前矢田駅、一社駅、高畑駅、車道駅、名古屋大学駅）
		○地下鉄車両における車内案内表示装置の設置 6両導入 782両中758両（導入率96.9%）	継続	・地下鉄車両における車内案内表示装置の設置 18両導入 782両中776両（導入率99.2%）	継続	・地下鉄車両における車内案内表示装置の設置 6両導入 782両中782両（導入率100%）
		○ノンステップバスの導入 1,018両中1,018両（導入率100%）	継続	・バス車両更新においては引続きノンステップバスとする。	継続	・バス車両更新においては引続きノンステップバスとする。
		○名城線・名港線におけるホームと車両の段差・隙間の解消 ・ホーム改修の設計等	新規	・車いす（ベビーカー）スペースがある1番及び18番乗降口の改修（名城線・名港線34駅）	継続	・2番から17番乗降口の改修（予定） 5駅（久屋大通駅、市役所駅、新瑞橋駅、伝馬町駅、神宮西駅）
	豊橋市	○バリアフリー化補助 実績なし	継続	実績なし	継続	事業者のバリアフリー化工事に合わせて実施予定

施策名	実施主体	2020年度実施した取組	2021年度実施した取組（予定も含む）	2022年度以降に実施予定の取組	
5 バリアフリー化の促進	岡崎市	○バリアフリー化の促進 愛環北岡崎駅バリアフリー化事業への補助を行う。 名鉄岡崎公園前駅バリアフリー化事業への補助を行う。	継続	○バリアフリー化の促進 名鉄岡崎公園前駅バリアフリー化事業への補助を行った。	継続
	春日井市	名古屋鉄道株式会社との基本協定に基づき、名鉄味美駅舎のバリアフリー化工事を実施	終了		
		名古屋鉄道株式会社と設計協定を締結し、名鉄春日井駅のバリアフリー化等に関する概略設計を実施	継続	名鉄春日井駅のバリアフリー化等に関する詳細設計に着手	継続
	みよし市	○コミュニティバス（さんさんバス）において、ノンステップバスを採用	継続		継続
	尾張旭市		新規	○バリアフリー化の促進 ミライロIDの導入	継続
	尾張旭市		新規	○バリアフリー化の促進 ・名鉄印場駅のエレベーター設置実施設計委託	継続
	小牧市	・エレベーターの整備 小牧駅に隣接する市営地下駐車場のバリアフリー化			
	碧南市	車椅子対応可のコミュニティバスを運行	継続		継続
	豊田市	基幹バスは全車対応済み。地域バスは、車両更新に合わせて順次更新	継続	基幹バスは全車対応済み。地域バスは、車両更新に合わせて順次更新	継続
	南知多町	町が委託している乗り合いバス（海っ子バス）において、ノンステップバスが採用されている。	継続		継続
6 利用者のニーズにあった運賃制度の導入等	名古屋市	○「ドニチエコきっぷ」の発売 平成18年4月より、土日休日・環境保全の日（毎月8日）及び土日休日ダイヤ特別運行日専用の市バス・地下鉄一日乗車券を、通常の市バス・地下鉄の一日乗車券よりも安価な620円で発売（2019年9月30日までは600円）  ○地下鉄全線24時間券の販売 2019年5月27日から、地下鉄全線一日乗車券に代わり、地下鉄が24時間乗り放題となる、地下鉄全線24時間券を販売。	継続		継続
	豊川市	・1日フリー乗車券通年販売 販売枚数：大人916枚・小人19枚 内容：市内バス路線全線が1日乗り放題となる乗車券を通年販売	継続	・1日フリー乗車券通年販売 内容：市内バス路線全線が1日乗り放題となる乗車券を通年販売	継続
	東海市	○公共交通機関の利用促進 定期券（1箇月2,000円）の導入	継続		継続
			新規	○公共交通機関の利用促進 令和3年9月1日からQRコード決済開始	継続
	長久手市				新規
南知多町	町が委託している乗り合いバス（海っ子バス）において、定期券、回数券、一日券を販売している。 8路線 年間利用者数184,756人（R2実績）	継続		継続	

(3) 自動車利用方法の改善、多様化

施策名	実施主体	2020年度実施した取組	2021年度実施した取組（予定も含む）	2022年度以降に実施予定の取組
1 次世代自動車等先進エコカーによるカーシェアリングの推進	豊田市	超小型電気自動車のシェアリング事業を実施（事業名：ハーモ）	継続 ・超小型電気自動車のシェアリング事業を実施（事業名：ハーモ） ・超小型電気自動車のシェアリング公用車併用モデル（平日：公用車、休日：シェアリング）運用を実施。（サービス名：トヨタシェア）	継続 超小型電気自動車のシェアリング公用車併用モデル（平日：公用車、休日：シェアリング）運用を実施。（サービス名：トヨタシェア）
3 自動車利用の抑制・平準化	春日井市	地球環境に優しい行動を積極的に行う日として、毎月第1水曜日を「エコライフDAY」と定め、自転車や公共交通機関の利用を啓発	継続	継続
	NPO法人中部リサイクル運動市民の会	社員に対する自動車通勤の原則禁止の通達をし、継続中。	継続	
	安城市	総合運動公園内の体育施設にて開催される大会の事前打合せにおいて、乗り合わせによる来場を参加者へ周知するよう主催者に要請した。	継続	継続
	大府市	ノーカーデーの実施 原則、毎月第1金曜日をノーカーデーとし、通勤に公共交通機関、自転車等の自家用車以外での通勤の協力を呼び掛けている。	継続	継続
	田原市	○レンタサイクル事業の実施 田原市中心市街地にレンタサイクルステーションを5カ所設置し、31台の自転車を無料で貸し出し	継続	継続
4 エコ通勤・エコ通学の促進	中部運輸局	「エコ通勤優良事業所認証制度」の普及促進	継続	
	豊橋市	市役所職員においてエコ通勤の推奨	継続	継続
	一宮市	月1回のノーカーデーの実施	継続	継続
	春日井市	自動車利用の抑制及びエコドライブの推進など、環境に配慮した取り組みを自主的かつ積極的に実施しているかすがいいエコオフィス認定事業所において、従業員へのエコ通勤を励行	継続	継続
		地球環境に優しい行動を積極的に行う日として、毎月第1水曜日を「エコライフDAY」と定め、自転車や公共交通機関の利用を啓発	継続	継続
	碧南市	職員のエコ通勤を推進	継続	継続
	豊田市	「豊田エコ交通をすすめる会」のワーキングチームによるモビリティマネジメントを実施。また、小学校向けに豊田エコ交通出前教室について、8校実施。	継続	「豊田エコ交通をすすめる会」の実践事業所によるモビリティマネジメントを実施。 継続

施策名	実施主体	2020年度実施した取組	2021年度実施した取組（予定も含む）		2022年度以降に実施予定の取組	
4 エコ通勤・エコ通学の促進	日進市	○エコモビリティライフの推進 毎月第1水曜日「エコモビの日」とし、市職員に対して自転車や徒歩、公共交通機関利用を啓発。12月に「エコモビ推進キャンペーン」を実施し、広報での啓発や、登録店と協力して事業を実施した。	継続		継続	
	小牧市	・毎月第1水曜日にノーカーデーを実施	継続		継続	
	田原市	○エコ通勤デーの実施 毎月第3水曜日をエコ通勤デーと定め、市職員に対して自転車や徒歩、公共交通機関の利用等を推進	継続		継続	
	清須市	ノーマイカーデーの実施（毎月10日、20日、30日）	継続		継続	
	弥富市	職員ノーマイカーデーの取り組み 毎月第1水曜日にエコモビの日を実施	継続		継続	
	あま市	・ノーマイカー通勤を毎月行い、温室効果ガス削減の意識を高める。	継続		継続	
	蟹江町	毎月10日を「ノーカーデー」として、自転車等での通勤を励行する。	継続		継続	
	東浦町	ノーマイカーデーを推奨する	継続		継続	
5 EVを活用したスマートグリッドの検討	豊田市	エコフルタウンでの導入効果のPR 引続きPRを実施	継続	引続きPRを予定	継続	引続きPRを予定
	(一社) 中部経済連合会	○スマートグリッドの検討 中経連会員企業数社でWGを設置し、EVも含めたさまざまな地域におけるマイクログリッドの導入に向けた検討を実施。	継続	WGにて作成した「マイクログリッド導入ハンドブック」を公表、県および全市町村に冊子を配付。県と興味ある自治体に脱炭素取り組みと合わせてマイクログリッドの説明を実施。また、自治体取り組みに協力できる会員企業のマッチングを実施。	継続	脱炭素取り組みに興味ある自治体と企業とのマッチングを実施。EV導入を含めた地域脱炭素取り組みの提案を継続的に実施。良好事例については自治体、企業に対し横展開。
7 「エコモビリティライフ」の推進	豊橋市	ええじゃないかカーフリーデー2020 9/27開催 (モビリティウィーク9/16～22)	継続	ええじゃないかカーフリーデー2021は新型コロナウイルス感染症の影響により延期 (モビリティウィーク9/16～22)	継続	
	津島市	○「エコモビリティライフ」の推進 「エコモビ」を推進するために、毎月第3木曜日を「エコモビの日」として設定。「自家用車」の使用をできるだけ避け、徒歩や自転車、公共交通機関での通勤を実践していただくように推進した。	継続		継続	
	豊山町	あいちエコモビリティライフ推進協議会が主催するエコモビ実践キャンペーンへ事業所として参加	継続	あいちエコモビリティライフ推進協議会が主催するエコモビ実践キャンペーンへ事業所として参加	継続	あいちエコモビリティライフ推進協議会が主催するエコモビ実践キャンペーンへ事業所として参加
	(公社) 愛知県バス協会	エコモビリティライフの推進	継続		継続	
	(一社) 中部経済連合会	○エコモビリティライフの推進 エコモビリティ推進協議会のメンバーとして会員企業への周知を図り、エコモビリティライフを推進	終了		終了	
	NPO法人ボランティアネイバーズ	エコモビリティライフの推進 ・あいちエコモビリティライフ推進協議会委員として啓発活動		エコモビリティライフの推進 ・あいちエコモビリティライフ推進協議会委員として啓発活動		
	瀬戸市	庁内にチラシを設置し啓発	継続		継続	
	蒲郡市	「エコモビリティライフの推進」 エコモビの日及びその前後2日間エコモビを実践した職員数を毎月集計し、実践率を職員に公表している。	継続		継続	
	江南市	○市ホームページで「エコモビリティライフ」の啓発記事を掲載	継続		継続	
	小牧市	・エコモビリティライフの推進 市ホームページにおいて、エコモビリティライフ推進事業記事の掲載、市役所窓口における啓発チラシの設置	継続		継続	

施策名	実施主体	2020年度実施した取組	2021年度実施した取組（予定も含む）		2022年度以降に実施予定の取組	
7 「エコ モビリティ ライフ」の推進	尾張旭市	○エコモビリティライフの推進 毎月第1水曜日を「エコモビの日」とし、職員に環境にやさしい交通行動を励行	継続		継続	
	北名古屋市	市役所職員に対し、毎月第1水曜日に自転車や徒歩、公共交通機関を使用して通勤するよう、掲示板にて周知し、実施を求めた。	継続		継続	
	愛知県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいちエコモビリティライフ推進協議会構成員を対象に、一定期間「エコ通勤」を中心とした「エコモビ」を実践する「エコモビ実践キャンペーン2020」を実施</li> <li>・県民に対し、自転車利用促進に関する啓発を実施</li> <li>・県内各地でエコモビ普及啓発活動を実施（「あいちエコモビリティライフ推進協議会」（事務局：交通対策課）の活動）</li> </ul>	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内企業・団体等が、一定期間に「エコ通勤」を中心とした「エコモビ」を実践する「エコモビ実践キャンペーン2021」を実施</li> <li>・県民に対し、広く「エコモビ」を啓発して意義や取り組みを知ってもらい、実践を呼びかけるとともに、公共交通を安心して利用できることを伝える「エコ モビリティ ライフ講演会」を実施</li> <li>・県内各地でエコモビ普及啓発活動を実施（「あいちエコモビリティライフ推進協議会」（事務局：交通対策課）の活動）</li> </ul>	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内企業・団体等が、一定期間に「エコ通勤」を中心とした「エコモビ」を実践する「エコモビ実践キャンペーン」を実施</li> <li>・県内企業等に対し、エコ通勤をはじめとした「エコモビ」の取組、実践例を知ってもらい、情報共有を図るための「エコモビ実践セミナー」を実施</li> <li>・県内各地でエコモビ普及啓発活動を実施（「あいちエコモビリティライフ推進協議会」（事務局：交通対策課）の活動）</li> </ul>

(4) 自転車等の利用促進

施策名	実施主体	2020年度実施した取組	2021年度実施した取組(予定も含む)	2022年度以降に実施予定の取組	
1 歩道、自転車通行帯、自転車駐輪場の整備等	中部地方整備局	【名国】自転車通行空間の整備 国道22号 名古屋市西区浅間町地区において、自転車通行空間を整備。	継続 【名国】自転車通行空間の整備 国道19号 名古屋市中区大須地区、中区金山地区において、自転車通行空間を整備。	継続 【名国】自転車通行空間の整備 国道1号、19号、22、41号、302号の名古屋市内において、自転車通行空間の整備を推進。	
		【名国】歩道の整備 国道155号 瀬戸市山口町地内において、歩道を整備(L=0.13km)	継続 【名国】歩道の整備 国道155号 瀬戸市山口町地内において、歩道を整備(L=0.22km)	継続 【名国】歩道の整備 国道155号 瀬戸市山口町地内において、歩道を整備(L=0.13km)	
		【名国】歩道の整備 国道153号 豊田市小田木町地内において、歩道の整備	継続	継続	
	名古屋市	○自転車通行空間の整備：整備道路延長6.3km(栄地区) ○自転車駐車場の整備：栄地区、丸の内駅	継続 ○自転車通行空間の整備 ○有料自転車駐車場の整備	継続	
	豊橋市	「豊橋市自転車活用推進計画」に定められた優先整備路線について自転車通行空間を整備する 施工延長 L=5800 m	継続 「豊橋市自転車活用推進計画」に定められた優先整備路線について自転車通行空間を整備する 施工延長 L=4700 m	継続	
	一宮市	○一宮市自転車活用推進計画に基づく自転車通行空間を整備 2020年度 計0.4km 市道0118号 0.4km	継続 ○一宮市自転車活用推進計画に基づく自転車通行空間を整備 2021年度の予定 計1.6km 市道0120号線 1.0km 市道0132号線 0.6km 2021年度までの累計2.0km	継続 ○一宮市自転車活用推進計画に基づく自転車通行空間を整備 2022年度の予定 計0.8km 市道0132号線 0.2km 市道0133号線 0.6km 2022年度までの累計2.8km	
		○歩道の整備 ・(都)今伊勢北方線 L=280m ・(都)福塚線 L=430m ・(都)光明寺二ツ屋線 L=225m	継続 ○歩道の整備 ・(都)内割田線 L=20m ・(都)光明寺二ツ屋線 L=469m ・(都)五城森上線 L=365m	継続 ○歩道の整備 ・(都)西御堂線 L=450m	
	半田市	歩道整備 【土木課】	継続	継続	
		自転車駐輪場の整備 【防災交通課】	継続	継続 道路整備事業に併せて利用を停止したJR亀崎駅仮設駐輪場の代わりに、新道路に隣接する新たな駐輪場を整備予定	
	春日井市	自転車道や歩行者道としてのふれあい緑道の整備 市街地における歩道の整備	継続 継続	継続 市街地における歩道の整備 自転車通行帯等の整備	継続 継続
		自転車駐車場の管理について 利用しやすい環境をつくるため、自転車の整理及び適切な維持管理を実施している	継続	継続	継続
		自転車等駐車場の整備 JR高蔵寺駅において自転車等駐車を整備	継続	継続	継続 自転車等駐車場の整備 JR神領駅周辺において整備検討
	豊川市	既存の自転車駐車があふれており、交通安全上危険であるため、新規に自転車駐車を整備した。 ・豊川駅西口第2自転車駐車場 令和2年9月1日供用開始 252台 スライドラック 一部屋根有 有料無人、24時間遠隔ゲート操作 交通系ICカード精算可能	終了	終了	終了
		歩道の整備(市道穂ノ原六角線) 歩道整備(L=90m)	終了	終了	終了
		歩道の整備(市道足山田大木線) 調査計画	継続	調査計画	継続 用地取得及び物件補償 歩道整備(L=310m)
		歩道の整備(市道西方御津紡線) 調査計画	継続	調査計画	継続 調査計画
		歩道の整備(都市計画道路上宿樽井線(市田野口工区)) 物件調査	継続	用地取得及び物件補償	継続 用地取得及び物件補償 歩道整備(L=310m)
		歩道の整備(都市計画道路桜町千両線) 用地取得及び物件補償	継続	歩道整備(L=460m)	継続 歩道整備(L=400m)
	歩道の整備(市道上長山一宮線) 歩道整備(L=470m)	終了	終了	終了	

施策名	実施主体	2020年度実施した取組	2021年度実施した取組（予定も含む）		2022年度以降に実施予定の取組
1 歩道、自転車通行帯、自転車駐輪場の整備等	新城市	○歩道の整備 八東穂1号線 令和2年6月1日完了済	終了		新規 ○歩道の整備 大海線 事業計画：令和4年度～令和6年度
	刈谷市	○バリアフリー化の促進 歩道の段差解消及び連続照明による照度確保、視覚障害者誘導用ブロックの設置 ・市道01-36号線、住吉町他、L=177m	継続	○バリアフリー化の促進 歩道の段差解消及び連続照明による照度確保、視覚障害者誘導用ブロックの設置 ・市道01-36号線、住吉町他、L=127m	継続 ○バリアフリー化の促進 歩道の段差解消及び連続照明による照度確保、視覚障害者誘導用ブロックの設置 ・市道01-36号線、住吉町他、L=207m
		○歩道の整備 道路新設改良工事 ・市道01-4号線、西境町他、L=150m	継続	○歩道の整備 道路新設改良工事 ・市道02-5号線、一里山町、L=110m ・市道02-31号線、半城土町、L=420m ・市道01-4号線、西境町他、L=400m ・市道01-41号線、東境町、L=675m ・市道01-3号線、東境町、L=50m	継続 ○歩道の整備 道路新設改良工事 ・市道01-40号線、熊野町他、L=1600m ・市道02-5号線、一里山町、L=270m ・市道1-409号線、一里山町、L=380m ・市道2-485号線、銀座他、L=210m
	安城市	○自転車通行空間の整備 ブルーラインによる自転車通行空間の整備を実施 (市道昭和弁天線他 800m)	継続	○自転車通行空間の整備 ブルーラインによる自転車通行空間の整備を実施 (主要地方道豊田安城線 100m)	継続 未定
	蒲郡市	通学路内のカラー舗装の整備	継続		継続
	江南市				新規 ○歩道の整備 都市計画道路江南通線 江南市古知野町地内において歩道を整備 (L=0.1km)
		○市の無料自転車等駐車場の管理 駐車台数 2,580台/1日	継続		継続 駐輪場の需要台数の変化に伴い、縮小又は廃止する。
		○路線バス利用者用の自転車駐車場設置 路線バスの停留所付近に路線バス利用者用の自転車駐車場を設置 路線バス利用者用の自転車駐車場の利用状況調査	継続		継続
	小牧市	・市道前田2号線外歩道整備を実施		・市道北外山小木線外歩道整備を実施	継続
	東海市	横須賀駅西通線街路整備事業 木田北部土地改良事業関連道路整備事業	継続	三ツ池線始め8路線道路改良事業 新池線道路改良事業	継続 三ツ池線始め8路線道路改良事業 向山南北線始め10路線道路改良事業 等
	大府市	利用しやすい環境をつくるため、自転車の整理の徹底及び適切な維持管理を実施 歩道、安全柵等の整備 緑道の整備 大府駅、共和駅に駐輪場の設置	継続		継続
	扶桑町	歩道の整備 (町道江南・扶桑線ほか、延長297m)	継続	歩道の整備 (町道江南・扶桑線ほか、延長400m)	継続 歩道の整備 (詳細未定)
	東浦町	歩道の整備 石浜156号線 (L=187.9m W=2.5m)	継続	歩道の整備 西平地西之宮線 (L=223.7m W=1.9~4.1m)	継続 歩道の整備 生路12号線 (L=70m)
愛知県	○歩道、自転車通行帯の整備等 一般県道浅井清須線・一宮市西大海道始め83箇所において、歩道、自転車歩行者道等を整備	継続	○歩道、自転車通行帯の整備等 一般県道合豊田線・みよし市打越町始め86箇所において、歩道、自転車歩行者道等を整備	継続 ○歩道、自転車通行帯の整備等 主要地方道安城碧南線・安城市和泉町始め101箇所において、歩道、自転車通行帯等を整備	



施策名	実施主体	2020年度実施した取組	2021年度実施した取組（予定も含む）		2022年度以降に実施予定の取組	
2 自転車利用の促進	豊橋市	○サイクルビット整備 ・自転車利用者がサイクリング中に気軽に立ち寄り、休憩や自転車の簡易なメンテナンスを行うことができる「サイクルビット」を市内各所に設置し、自転車を快適に利用できる環境を整備する	継続	・利用状況の確認 ・サイクルビットの維持管理	継続	・サイクルビットの点検、補修
		○電動アシスト自転車購入補助金 電動アシスト自転車購入者への補助（600台）	継続		終了	
		電動アシスト自転車の公用利用（10台）	継続		継続	
	半田市	公用自転車の活用 【財政課】	継続		継続	
		竜の子街道サイクリングマップのPR 【観光課】	継続		終了	
	春日井市	2018年度に生活保護世帯への訪問時等に利用する目的で公用自転車を導入し、継続して利用している。	継続		継続	
		地球環境に優しい行動を積極的に行う日として、毎月第1水曜日を「エコライフDAY」と定め、自転車や公共交通機関の利用を啓発	継続		継続	
		自動車利用の抑制及びエコドライブの推進など、環境に配慮した取り組みを自主的かつ積極的に実施しているかすがいエコオフィス認定事業所において、従業員へのエコ通勤を励行 自転車活用推進計画の策定	継続		継続	
		自転車活用推進計画の策定	終了			
	碧南市	公用自転車の活用	継続		継続	
	豊田市	路線バスを利用したサイクリングコース「旅ボタ」のPRを実施。	継続	路線バスを利用したサイクリングコース「旅ボタ」のPRを実施。	継続	路線バスを利用したサイクリングコース「旅ボタ」のPRを実施。
	NPO法人中部リサイクル運動市民の会	社員に対する自転車通勤に関する取り決めを作成し、運用を継続中。	継続			
	NPO法人ボランティアリーネイバース	自転車利用の促進（スタッフ通勤・社用利用）		自転車利用の促進（スタッフ通勤・近距離の社用時利用）		自転車利用の促進（スタッフ通勤・近距離の社用時利用）
	安城市	○T Sマーク付帯保険に対する補助（自転車安全整備費補助1,027件）	継続	○T Sマーク付帯保険に対する補助（自転車安全整備費補助1,300件）	継続	未定
	蒲郡市	電動アシスト自転車購入補助金を交付	継続		継続	
	大府市		新規	市民向け講座での啓発	継続	
尾張旭市	市役所庁舎に公用自転車を設置し、近場への移動の際に活用した。	継続		継続		
東浦町	不用品回収で住民から回収した自転車を、公用自転車として継続利用	継続		継続		

施策名	実施主体	2020年度実施した取組	2021年度実施した取組（予定も含む）		2022年度以降に実施予定の取組		
3 自転車共同利用の促進	半田市	レンタサイクル事業 【観光課】	継続		継続		
	春日井市	レンタサイクル 放置自転車をリサイクルすることで、廃棄物の減量を図りつつ、市民の移動支援を行う	継続		継続		
	豊田市	超小型電気自動車のシェアリング事業を実施（約60ステーション、コムス約120台規模で実施。（事業名：ハーモ））	継続	・超小型電気自動車のシェアリング事業を実施（事業名：ハーモ） ・超小型電気自動車のシェアリング公用車併用モデル（平日：公用車、休日：シェアリング）運用を実施。	継続	超小型電気自動車のシェアリング公用車併用モデル（平日：公用車、休日：シェアリング）運用を実施。	
	NPO法人中部リサイクル運動市民の会	社員共有の自転車を事務所に設置し、継続中。	終了				
	NPO法人ボランティアリーネイバーズ	自転車共同利用の促進（事務所車普及）		自転車共同利用の促進（事務所車普及）		自転車共同利用の促進（リース自転車を活用し、共有自転車を増台）	
	安城市	○レンタサイクル事業の実施 11ポート48台でレンタサイクル事業を実施	継続		継続	未定	
	知立市	駅前駐車場と市役所に自転車を設置し、観光・買い物等に利用	継続		継続		
	清須市	レンタサイクル事業の実施	継続		継続		
	愛知県	○リニモ沿線レンタサイクル（パーク&ライド推進会議で運営・レンタサイクル台数70台） リニモ沿線における公共交通の利用促進・観光周遊等の促進と地球温暖化防止のため、沿線の学生・住民・観光客や企業等の従業員に対して登録制のレンタサイクルを実施。	終了	愛・地球博記念公園北側パーク&ライド駐車場が廃止されるに伴い、実施主体であるパーク&ライド推進会議が廃止されるため、レンタサイクル事業についても終了。			
		○自転車共同利用の促進 公用自転車を整備し、郵便局や銀行などの公署から近い用務先へ出張に行く際は、公用自転車を利用するようにしている。	継続			継続	
4 パーソナルモビリティの普及	豊田市	一般市民を対象に、中心市街地においてとよたエコフルタウンを起点としたパーソナルモビリティの公道ツアー等の実証実験を実施	継続	一般市民を対象に、市管理の公園内及び中心市街地においてパーソナルモビリティの公道ツアー等の実証実験を実施	継続	とよたエコフルタウン内や、イベント時の体験試乗等を通して、パーソナルモビリティ含む次世代モビリティの普及啓発を行う。	

6 交通流対策の推進

(1) 通過・流入交通の分散、回避

施策名	実施主体	2020年度実施した取組		2021年度実施した取組（予定も含む）		2022年度以降に実施予定の取組	
1 環状道路、バイパスの整備	中部地方整備局	【愛国】環状道路の整備 名古屋環状2号線の整備	継続		継続		
		【愛国】バイパスの整備 国道41号名濃バイパスの整備	継続		継続		
		【名四】バイパスの整備 国道23号名豊道路の整備	継続		継続		
		【名四】バイパスの整備 国道153号豊田北バイパスの整備	継続		継続		
		【名四】バイパスの整備 国道155号豊田南バイパスの整備	継続		継続		
		【愛国】バイパスの整備 西知多道路（東海JCT）の整備	継続		継続		
	中日本高速道路(株)名古屋支社	交通の円滑化のための高規格幹線網の新規整備 ・豊田上郷スマートIC ・一宮稲沢北IC	継続	交通の円滑化のための高規格幹線網の新規整備 ・名古屋第二環状自動車道 ・刈谷スマートIC	継続	交通の円滑化のための高規格幹線網の新規整備 ・岡崎阿知和スマートIC ・東郷スマートIC	
		愛知県道路公社	○インターチェンジの新規整備 ・武豊北IC（仮称）	継続	同左	継続	同左
	(一社) 中部経済連合会	○広域幹線道路網の整備推進 愛知県などと共に国等に対し広域幹線道路網の整備等に対する要望活動を実施。合わせて「中部圏の交通ネットワークのさらなる充実に向けて」を2018年に公表し、整備推進に協力。さらに、従来からの要望活動に加え、個別道路の要望等についても必要に応じて対応	継続	○広域幹線道路網の整備推進 愛知県などと共に国等に対し広域幹線道路網の整備等に対する要望活動を実施。合わせて「中部圏の交通ネットワークビジョン」を年度末に公表し、整備推進に協力。さらに、従来からの要望活動に加え、個別道路の要望等についても必要に応じて対応	継続	○広域幹線道路網の整備推進 愛知県などと共に国等に対し広域幹線道路網の整備等に対する要望活動を実施。合わせて「中部圏の交通ネットワークのさらなる充実に向けて」を2022年に公表し、整備推進に協力。さらに、従来からの要望活動に加え、個別道路の要望等についても必要に応じて対応	
	大府市	市街地への通過交通を抑制するため、バイパス的な幹線道路の整備、延長	継続		継続		
尾張旭市	○バイパスの整備 市道巡検道線の渋滞を緩和するために市道南栄6号線の道路拡幅整備を実施（測量設計等）	継続	○バイパスの整備 市道巡検道線の渋滞を緩和するために市道南栄6号線の道路拡幅整備を実施（用地取得等）	継続			
武豊町	○道路改良 町道大門田・清水第2号線 武豊町大字東大高字清水ほかか地内において道路改良工事及び用地買収を実施。	継続		継続			
愛知県	県内30箇所、街路事業を実施。	継続	県内27箇所、街路事業を実施。	継続	継続実施（箇所数未定）2022年度以降も街路事業を実施予定。		
	○環状道路、バイパス等の整備 東三河環状線はじめ108箇所	継続	○環状道路、バイパス等の整備 東三河環状線はじめ109箇所	継続	継続実施（箇所数未定） 2022年度以降も環状道路、バイパス等の整備を推進する。		
2 立体交差事業等の推進	名古屋市	○道路と鉄道の立体交差化 単独立体交差事業の実施 ・都計守山本通線と名鉄瀬戸線 ・名鉄名古屋本線呼続地区	継続		継続	○道路と鉄道の立体交差化 連続立体交差事業の実施 ・名鉄名古屋本線（桜駅～本星崎駅間）	
	半田市	JR武豊線連続立体交差化事業 【市街地整備課】	継続		継続		
	江南市	○立体交差事業の推進 名鉄大山線布袋駅付近において鉄道高架事業を実施	継続		終了		
	知立市	連続立体交差事業の推進 知立駅付近連続立体交差事業を実施	継続		継続		
	愛知県	○連続立体交差事業等の推進 知立市、半田市において連続立体交差事業を実施。	継続		継続		
		○交差点改良 一般国道248号、瀬戸市市野町六丁目交差点始め32箇所において、右折帯設置等の交差点改良工事を実施	継続	○交差点改良 一般国道安城知立線、知立市谷田町谷田交番前交差点始め38箇所において、右折帯設置等の交差点改良工事を実施	継続	○交差点改良 一般国道安城知立線、知立市谷田町谷田交番前交差点始め40箇所において、右折帯設置等の交差点改良工事を実施	
	○道路と鉄道の立体交差事業等の推進 (主) 岐阜稲沢線 刈安賀1号踏切はじめ6箇所	継続	○道路と鉄道の立体交差事業等の推進 (主) 岐阜稲沢線 刈安賀1号踏切はじめ4箇所	継続	継続実施（箇所数未定） 2022年度以降も立体交差事業等を推進する。		

施策名	実施主体	2020年度実施した取組	2021年度実施した取組（予定も含む）		2022年度以降に実施予定の取組	
3 駐車違反車両の取締強化、啓発の実施	愛知県警察本部	○ 交通事故や交通渋滞を誘発する悪質な違法駐車に対する取締りを重点的に実施	継続		継続	
4 幹線道路における交通規制の実施	愛知県警察本部	1 交通実態に応じた信号システムの充実と見直し 2 交通規制等の見直し	継続		継続	

(2) ITSを活用した環境負荷の少ない交通システムの構築促進

施策名	実施主体	2020年度実施した取組	2021年度実施した取組（予定も含む）		2022年度以降に実施予定の取組	
1 ETCの新たな利活用方法の検討	愛知県道路公社	○ ETCを活用した通勤時間帯割引 ・知多半島道路の通行料金を3割引（6時～9時、17時～20時）	継続	同左	継続	同左
3 新交通管理システムの整備	愛知県警察本部	○ 光ビーコン(光学式情報収集提供装置)の整備 ※ 光ビーコン 36基の整備	終了			
4 ITS総合情報提供基盤の整備	豊田市	移動支援ポータルサイト「みちなびとよた」及び鉄道駅等に設置したタッチパネル端末にて交通情報等を提供。利便性向上等の改善を実施。	継続	移動支援ポータルサイト「みちなびとよた」にて交通情報等を提供。利便性向上等の改善を実施。	継続	「みちなびとよた」にてバス運行情報を提供。
	名古屋高速道路公社	○ 高速道路等情報サービス施設の整備 ・各種道路情報板の設置 ・ラジオによるハイウェイ（道路）情報の提供 ・VICS(道路交通情報通信システム)の提供提供（ETC2.0含む） ・ホームページによる混雑情報の提供 ・中部国際空港への所要時間案内表示（情報板）6ヶ所 ・ハイウェイテレホンによる所要時間情報の提供 ・名古屋高速お客様センターを開設し各種問合せに対応 ・携帯電話による所管時間情報等の提供 ・同じ方向に向かう並行路線の経路分岐手前情報板で所要時間情報を提供 4ヶ所 ・知多半島道路（北行）愛知県道路公社情報板で名古屋高速の渋滞情報等を提供	継続		継続	
	NPO法人ITS JAPAN	統合的移動サービス実現に向けた社会基盤データ利活用検討活動 ・モビリティ関連データの流通基盤要件検討 ・小さなサービス実証ポータルサイトの構築	新規	新中期計画（2021～2025）に基づいた新たなモビリティサービス実現に向けた活動 ・カーボンニュートラル委員会活動	継続	
5 ブロープ情報の活用促進	豊田市	ブロープ情報を解析して抽出した危険箇所について、交通事故対策を実施。	継続	ブロープ情報を解析して抽出した危険箇所について、交通事故対策を実施。	終了	ブロープ情報を解析して抽出した危険箇所について、交通事故対策を実施。
6 渋滞、駐車場、大気汚染等各種情報の提供	豊田市	利便性を向上した新たな駐車場案内システムを整備	継続	駐車場案内システムでの情報提供を実施	継続	駐車場案内システムを引き続き運用
	常滑市	自動車排出ガス測定局による大気汚染の常時監視	継続		継続	
	愛知県	道路沿道環境状況予測システム運営 名古屋南部地域及び岡崎・安城地域を対象として、NO2及びSPMの年平均濃度が、環境基準を超過すると予測される場合、道路交通情報板を用いて道路沿道の大気汚染状況等の環境情報の提供を行った。 【実績】情報提供 0回	継続	【実績】情報提供 0回（12月末まで）	継続	
7 産・学・行政の連携によるITSの推進	豊田市	交通まちづくり推進協議会及び部会の運営を実施	終了	交通まちづくり行動計画（2016-2020）の期間満了に伴い、協議会を解散		
	NPO法人ITS JAPAN	関連団体および産官学連携のITS推進 ・産官学連携によるITSシンポジウム実施 ・委員会、フォーラム活動による情報共有	継続	関連団体および産官学連携のITS推進 ・産官学連携によるITSシンポジウム実施 ・委員会、フォーラム活動による情報共有	継続	
	刈谷市	愛知県ITS推進協議会への参画し、産・学・行政の連携によるITSの推進に努めた。	継続		継続	
	愛知県	「愛知県ITS推進協議会」の活動として、ITSあいち県民フォーラム（11月27日）等を実施。 （愛知県ITS推進協議会（事務局：交通対策課）の活動）	継続	「愛知県ITS推進協議会」の活動として、ITSあいち県民フォーラム（6月30日）等を実施。 （愛知県ITS推進協議会（事務局：交通対策課）の活動）	継続	「愛知県ITS推進協議会」の活動として、ITSあいち県民フォーラム等を実施。 （愛知県ITS推進協議会（事務局：交通対策課）の活動）

7 自動車交通集中地域等の対策の推進

施策名	実施主体	2020年度実施した取組	2021年度実施した取組（予定も含む）	2022年度以降に実施予定の取組		
1 自動車交通集中地域等の対策の推進	中部地方整備局	【名国】自動車交通集中地域等の対策の推進 愛知県道路交通渋滞対策推進協議会を书面開催（1回目：8月、2回目：3月）	継続	【名国】自動車交通集中地域等の対策の推進 愛知県道路交通渋滞対策推進協議会を実施（8月2日）、2回目を実施予定	継続	
	愛知県警察本部	○愛知県道路環境対策連絡会議における取組の推進	継続		継続	
	名古屋市	○常時観測局の測定結果の公表 ・インターネットにより、毎月の大気汚染常時監視速報値及び毎年度の確定値を情報提供している。（名古屋高速道路及び名古屋環状2号線9局）	継続		継続	
	愛知県	<6-2-6再掲> 道路沿道環境状況予測システム運営	継続		継続	

8 普及啓発活動の推進

(1) 次世代自動車等先進エコカーの普及・啓発

施策名	実施主体	2020年度実施した取組	2021年度実施した取組（予定も含む）	2022年度以降に実施予定の取組		
1 次世代自動車等先進エコカー普及に向けた広報等の実施	名古屋市	○イベントのバレード車 ・コロナ禍のため自粛中	継続	○イベントのバレード車 ・なごや商業フェスタの先導車でPHV利用	継続	
	半田市	次世代自動車等先進エコカー普及に向けた広報等の実施 ※FCV：1台・EV：1台保有 【環境課】	継続		継続	
	春日井市	新型コロナウイルス感染症拡大防止のためエコメッセフェスタを規模縮小。燃料電池自動車の展示は中止。	継続	新型コロナウイルス感染症拡大防止のためエコメッセフェスタを中止。中止に伴い燃料電池自動車の展示は中止。	継続	エコメッセフェスタにおいて、燃料電池自動車を展示
	豊田市	「とよたSAKURAプロジェクト」として次世代自動車普及促進事業を展開 【R2取組内容】 (1) 防災関連イベント、防災訓練、地域防災講座での活用 →パートナー制度を活用し、自動車販売店が協力し、地域防災イベントへ出展 (2) 環境関連イベント、環境教育での活用（環境関連施設、学校） (3) エコファミリー支援補助金のPR（次世代自動車、外部給電・充電設備への補助） (4) 豊田市PRイベントでの活用 (5) 令和3年9月からプロジェクト名称を「SAKURAプロジェクト」に変更し、外部給電を「ふやす」「つなぐ」「つかえる」仕組みを日本全国にひろげる取組を開始 【イベント等出展】 9月1日防火防災啓発（イオンスタイル豊田店）始め4件 【地域防災訓練等への出展】 自治区等地域で実施される防災訓練をはじめとする行事に外部給電機能を持つ車を配車し、市民に啓発。 8月22日豊松小学校防災キャンプ始め5件（うちパートナー協力3件）	継続	引続き取組を実施 【R3取組内容】（件数は11月末現在予定しているもの） (1) 防災関連イベント、防災訓練、地域防災講座での活用 →パートナー制度を活用し、自動車販売店が協力し、地域防災イベントへ出展 (2) 環境関連イベント、環境教育での活用（環境関連施設、学校） (3) エコファミリー支援補助金のPR（次世代自動車、充電設備への補助） (4) 豊田市PRイベントでの活用 (5) 後付け外部給電装置等新規の補助制度創設や、自動車メーカーが開発中の配車アプリ（外部給電車両と避難所をマッチングするシステム）を活用した実証実験の実施 【イベント等出展】 7月4日藤岡南地域予算提案事業始め 5件 【地域防災訓練等への出展】 自治区等地域で実施される防災訓練をはじめとする行事に外部給電機能を持つ車を配車し、市民に啓発。 9月18日高橋自治区防災訓練始め 7件（うちパートナー協力3件）	継続	民間事業者と連携を深め、引き続き普及促進を推進する。
		燃料電池車の購入補助を実施 次世代自動車普及促進費補助金 個人向け：5件 事業者向け：15件	継続	燃料電池車の購入補助を実施 次世代自動車普及促進費補助金（11月末時点） 個人向け：11件 事業者向け：10件	継続	引続き補助を予定

施策名	実施主体	2020年度実施した取組	2021年度実施した取組（予定も含む）		2022年度以降に実施予定の取組	
1 次世代自動車等先進エコカー普及に向けた広報等の実施	(一社) 日本自動車工業会	環境省COOL CHOICEの一環として、チョイス！エコカーキャンペーンに賛同し協力している。	終了			
	小牧市			・令和3年11月6日（土）に開催した環境フェアにおいて燃料電池自動車展示	継続	
	田原市	新型コロナウイルスの影響により「たはらエコフェスタ2020」開催中止		新型コロナウイルスの影響により「たはらエコフェスタ2021」開催中止	継続	○次世代自動車等先進エコカーの普及啓発「たはらエコフェスタ」において燃料電池自動車の展示を実施（予定）
	大府市		新規	電気自動車の導入及びラッピングによる広報 市民向け環境講座での電気自動車の紹介	継続	
2 エコカーフェアやモーターショーの企画開催	名古屋市	○イベントの実施 ・SDG s マルシェ「みにちわ」においてFCVの外部給電機能による電力供給を実演 ○出前講座の実施 ・小・中・高校生を対象とした出前講座でのFCV、PHVの展示	継続	○イベントの実施 ・SDG s マルシェ「みにちわ」においてFCVの外部給電機能による電力供給を実演 ○出前講座の実施 ・小学生を対象とした出前講座でのFCV、PHVの展示	継続	
	豊橋市	高等学校エコカーレース総合大会（新型コロナウイルス感染症の拡大により中止）	継続	高等学校エコカーレース総合大会（新型コロナウイルス感染症の拡大により中止）	継続	高等学校エコカーレース総合大会 6月開催
	(一社) 愛知県トラック協会	○新型コロナウイルス感染症の影響により中止	継続	○令和4年2月23日、パンテリンドーム ナゴヤ（名古屋）において「第17回トラックフェスティバル」を開催予定	継続	継続予定
	(一社) 日本自動車工業会	2020年は東京モーターショーは休催年。 政府や自治体のエコカーフェアなどのイベント催行の場で、エコドライブの推進に協力するべく、体制を整えてきた。2020年度は「環境広場さっぽろ2020バーチャルツアー」にエコドライブアニメやeラーニングを提供した。	継続	2021年は東京モーターショーはコロナ禍で中止。 政府や自治体のエコカーフェアなどのイベントにおけるエコドライブの推進に協力するべく、体制を整えてきたが、コロナ禍の影響もあり、従来から参加してきたイベントの催行中止となるなど、アピールする機会が減少している。	継続	2022年は東京モーターショーの休催年。 政府や自治体のエコカーフェアなどのイベントにおけるエコドライブの推進に引き続き協力する予定。ただし、コロナ禍の影響もあるため、イベントの開催状況に応じて対応したい。
	愛知県	エコカーの導入等、あいち自動車環境戦略2020に掲げる施策に積極的に取り組む事業所を「自動車エコ事業所」として認定。 【R2年度認定事業所数：6、H16～R2累計認定事業所数：136】	継続	エコカーの導入等、あいち自動車環境戦略2020に掲げる施策に積極的に取り組む事業所を「自動車エコ事業所」として認定。 【R3年度認定事業所数：4、H16～R3累計認定事業所数：140】	継続	
4 燃料電池自動車の普及	名古屋市	○イベントの実施 ・SDG s マルシェ「みにちわ」においてFCVの外部給電機能による電力供給を実演 ○出前講座の実施 ・小・中・高校生を対象とした出前講座でのFCV、PHVの展示	継続	○イベントの実施 ・SDG s マルシェ「みにちわ」においてFCVの外部給電機能による電力供給を実演 ○出前講座の実施 ・小学生を対象とした出前講座でのFCV、PHVの展示	継続	
	春日井市	新型コロナウイルス感染症拡大防止のためエコメッセージフェスタを規模縮小。燃料電池自動車の展示は中止。	継続	新型コロナウイルス感染症拡大防止のためエコメッセージフェスタを中止。中止に伴い燃料電池自動車の展示は中止。	継続	エコメッセージフェスタにおいて、燃料電池自動車を展示
	西尾市	環境Wave21において、FCVの展示及び試乗会を計画するが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。	継続	環境Wave21において、FCVの展示及び試乗会を計画するが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。	継続	
	豊山町	11月7日に環境フェスティバルの開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、環境フェスティバルの開催を中止とした。	継続	11月13日に環境フェスティバルを開催し、燃料電池自動車の出展を実施した。	継続	環境フェスティバルを開催し、燃料電池自動車の出展を実施する。

施策名	実施主体	2020年度実施した取組	2021年度実施した取組（予定も含む）		2022年度以降に実施予定の取組	
4 燃料電池自動車の普及	(一社) 日本ガス協会 (東邦ガス株)	あいちFCV普及促進協議会への参画	継続	あいちFCV普及促進協議会への参画	継続	あいちFCV普及促進協議会への参画
	岩倉市	例年、岩倉市主催の「環境フェア」(11月開催)において燃料電池自動車(県所有)1台を展示していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「環境フェア」を中止したので実施できなかった。	継続	未定	継続	未定
	蟹江町	かこえ町民まつりにて、燃料電池自動車の展示を予定(10月10日・11日) 新型コロナウイルスの感染拡大防止の為中止	継続	かこえ町民まつりにて、燃料電池自動車の展示を予定(10月9日・10日) 昨年に引き続き新型コロナウイルスの感染拡大防止の為中止	継続	
	蒲郡市		新規	燃料電池自動車を公用車として導入し、出発式等を開催し市民に普及を図る	継続	
	愛知県	○あいち次世代自動車インフラ整備推進協議会の開催(1回) ○展示・試乗会の開催(17回) ○次世代自動車フォーラムの開催(1回) ○あいちFCV普及促進協議会の開催(2回)	継続		継続	

9 道路環境改善対策

(1) 道路構造対策、沿道の環境改善対策の推進

施策名	実施主体	2020年度実施した取組	2021年度実施した取組(予定も含む)	2022年度以降に実施予定の取組	
1 道路構造対策	中部地方整備局	【名国】道路構造対策 国道41号北区において、低騒音舗装を実施。	継続 【名国】道路構造対策 ・国道41号北区において、舗装の打ち替え(部分的)を実施予定。 ・国道23号南区において、舗装の打ち替え(部分的)を実施予定。	継続	
		【名国】道路構造対策 国道23号港区藤前～緑区大高町地内において、環境施設帯設置事業を実施	継続	継続	
	名古屋市	名古屋市道等の幹線道路にて低騒音舗装を実施(L=約3.6km)	継続	名古屋市道等の幹線道路にて低騒音舗装を実施(L=約4.0km)	継続
	半田市	JR武豊線連続立体交差化事業 【市街地整備課】	継続		継続
	名古屋高速道路公社	○低騒音舗装(排水性舗装)の実施:リフレッシュ工事 ・高速都心環状線:5.4km ・高速3号大高線(北行き):1.2km	継続	○低騒音舗装(排水性舗装)の実施:リフレッシュ工事 ・高速3号大高線(北行き):10.9km	継続
	刈谷市	○道路構造対策 低騒音舗装(排水性舗装)の実施	継続	○道路構造対策 低騒音舗装(排水性舗装)の実施 ・市道01-4号線、西境町他、L=900m ・市道01-41号線、東境町、L=252m	継続
	愛知県	○排水性舗装の実施 必要な箇所において、実施する。  ○低騒音舗装の敷設 なし	継続  継続	○低騒音舗装の敷設 なし	継続  継続
2 沿道の環境改善対策	中部地方整備局	【名国】沿道の環境改善対策 国道23号通行ルール周知の広報を実施。	継続	継続	
	名古屋市	○国道23号通行ルールのPR	継続	継続	
	名古屋高速道路公社	○住宅の防音工事に対する助成を実施 ・名古屋高速道路沿線において、騒音レベルが基準を超える家屋を対象に適宜実施	継続	継続	
	一般社団法人愛知県トラック協会	○国道23号通行ルールのPR 会員事業者に向けて、国道23号において大型車は中央寄りの車線を行くようチラシを会報誌に掲載し、周知を図った。	継続	継続	
	愛知県	土地区画整理事業において、幹線道路の沿道に適切な土地利用の誘導を推進する。	継続	継続	
3 自動車騒音の最新規制適合車への転換を促進	石油連盟	運輸部門のCO2対策等として、国の持続可能性基準(GHG削減効果など)に適合したバイオ燃料をETBE方式で導入しています(2020年度のETBE導入目標量は全国で194万KL→全国平均のETBE配合率4.3%(に相当))。	継続	継続	
	(一社)日本自動車工業会	自動車騒音の低減に向けて、騒音規制に対応した世界トップクラスの静かな自動車を供給。 二輪車、四輪車とも国連法規に即した新たな国際的基準への適合に係る活動を推進した。	継続	継続	